

地域の元気推進事業

# 二里町元気づくり計画



(有田川カワニバル)

平成21年3月

二里町元気なまちづくり推進協議会

## <二里町民憲章>

わたし にりちようみん  
私たちが二里町民は、

せんじん さげ そくせき  
先人たちの築いた足跡を

みちしるべ  
道標として、

みず みどりゆた きようど  
水と緑豊かな郷土の

しぜんかんきよう まも  
自然環境を守り、

ひとっ にん げん せい ゆた かな ひと づくり  
一、人間性豊かな人づくり

ひとっ れん たい かん あ ふ れ る まち づくり  
一、連帯感あふれる町づくり

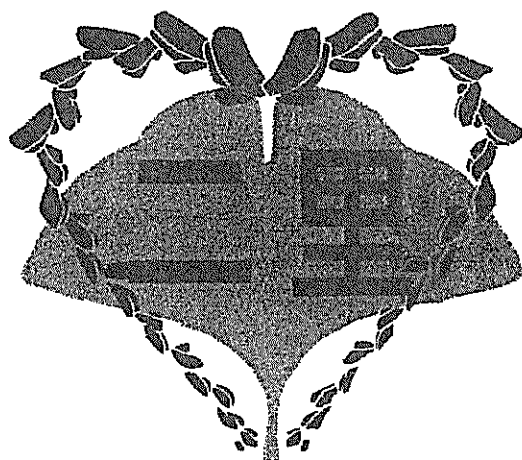
ひとっ そ らい き いら く ゆめ づくり  
一、未来を拓く夢づくり

あいっど  
に相努め、

あか かつりよく  
「明るく、活力のある

ゆた かな ふたさとの ぞうぞう  
豊かなふたさとの創造」

めざ  
を目指します。



### ○二里町のシンボルマーク

腰岳と国見山系の裾野に広がる二里町は、町の中央を清流有田川が南から北に縦断する、緑に富んだ風光明媚な自然の美しい町です。町の中央に位置する二里小学校に学んだ人にとって、校庭にあるイチヨウの樹は思い出深いものがあります。そのイチヨウの若葉に古子の滝ふじをあしらい、町の色である橙色で「二里」の文字をしたためました。葉の中央のくぼみで二つの里から成り立つ二里町と町内に住む老若男女を表し、ふじでかたち取ったハートはその心と心をつなぐ絆を意味します。ここに二里町民が一丸となり緑豊かな自然の営みの中で、共同・融和の精神を育み、心豊かに「明るく、活力のある豊かなふたさとの創造」を目指すシンボル（象徴）とします。

### ○二里町の花及び木

花名：ふじ

選定理由：古子区に現存する「滝ふじ」をまちづくりの要として、町民が連帯しながら育てたいと考えています。

木名：イチヨウ

選定理由：二里小学校の校庭にあるイチヨウの樹は、二里町民にとって思い出深いものです。天高くそびえるイチヨウ樹のように、大きな希望に向かっていくよう、これを二里町の象徴木としました。

## 目 次

1. 「元気づくり計画」策定にあたって	
(1)二里町の元気づくり事業について	1
(2)二里町の未来計画を進めるにあたって	1
(3)元気づくり事業への取り組みについて	1
2. 二里町のプロフィール	
(1)二里町の概要	2
(2)人口と世帯数	2
(3)二里町の現状と課題	3
3. 町民（全戸）アンケートから見る住民の意見	
(1)各問の分析	4～14
(2)二里町の良いところ	15
(3)二里町の嫌いなところ	16～17
(4)課題等の整理	18
(5)各部会別に整理してみると	19～20
4. 二里町の未来構想	
(1)こんなにある二里町の魅力	21～23
(2)住民参加のキーワード	24
(3)元気なまちづくりの8つの合言葉	25～26
(4)各部会と合言葉の関係図	27
(5)事業部会別の受持ち内容	28
5. まちづくりの基本計画	
(1)まちづくりの推進スケジュール	29
(2)年度別の推進スケジュール	30
6. 元気づくり計画の実施に向けて	
(1)推進母体の構造(組織図)	31
(2)事業部会構成員	32
(3)これまでの歩み(策定経過)	33
7. 資料編	
(1)二里町の位置関連	1～2
(2)限界集落の概要	3
(3)住民アンケート調査の単純集計結果	4～5
(4)町別人口・世帯数の推移	6～7
(5)伊万里市 町別5歳階層別人口	8
(6)5歳階層別（65歳以上）・行政区別人口	9～10

## 二里町元気なまちづくり計画

### 1. 「元気づくり計画」策定にあたって

#### (1) 二里町の元気づくり事業について

少子高齢化、高度情報化、団塊世代の大量退職や価値観の多様化により人間関係が希薄化しています。このような急激な社会情勢の変化の中でまちづくりの在り方にも変革が求められてきました。

地方分権が推進されるなか、地域のあり方も見直され、自立した自治体となることが求められています。そのためには「自分たちの地域で自分たちに何が出来るか」を問い直し「地域の課題は地域で解決していく」ための地域自治の仕組みを作ることが必要となります。

二里町では、平成 19 年度に「地域の元気推進事業」モデル地区の選定を受け、設立準備委員会を重ねて、平成 20 年 7 月 29 日に「二里町元気なまちづくり推進協議会」の設立総会を開催したところです。

#### (2) 二里町の未来計画を策定するにあたって

元気づくり計画は、全戸アンケート調査をもとに町民の考えを盛り込んだ二里町の未来計画です。

これまでの行政任せや、区長さん頼りの陳情のみに頼らず、二里町の抱える現状と課題を踏まえて住民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちでつくる」の理念に基づいて二里町の未来計画を策定していきます。

#### (3) 元気づくり事業への取り組みについて

元気づくり計画を策定するにあたっては、平成 18 年度に策定された『二里町民憲章』にあります、水と緑豊かな郷土の自然環境を守りながら、「人間性豊かな人づくり」に務め「連帯感あふれる町づくり」をとおして二里町の「未来を拓く夢づくり」につなげることを目的としています。

子どもや高齢者等を含めた、すべての二里町民に「明るく活力のある豊かなふたさとの創造」へ知恵と力（汗）を貸（出）していただき魅力あるまちづくりに参画していただきたいと願っています。

## 2. 二里町のプロフィール

### (1) 二里町の概要

二里町は、伊万里市の西部に位置し、伊万里町と東山代町及び有田町（旧西有田町）に隣接しています。東に腰岳（通称 伊万里富士）西に国見山及び烏帽子岳の連山に囲まれ、町の中央を清流有田川が南から北に縦断する、緑に富んだ風光明媚な自然の美しい町です。

当町には、遠い昔から人が住んでいました。北麓には前方後円墳の奈路寺古墳が存在し、石棺の中から三角縁三神三獣鏡と剣が出土、さらには今から何万年も前に腰岳が噴火した時の遺産として、黒曜石が今もいたるところから出土しており、鈴桶や平沢良地区は石器加工跡とされています。また、腰岳産の黒曜石製の石鏃が北九州一円から遠く朝鮮半島にまで及んでいることから当時の交流関係が立証され、当地域が太古から開けていたといえます。

昭和29年に伊万里湾を囲む2町7か村が合併し、伊万里市制が施行、二里村は二里町になりました。当時、町の産業は水稻を中心とした純農村でしたが、市の中心部に接していることから都市化、市街地化傾向が進み、就業構造にも変化が見られ、今日では全世帯の大部分が自営商業かサラリーマン世帯となっています。

安永3年、伊万里湾岸最大の干拓地として造成された八谷搦地区は、市の中心市街地近くに位置し、近年の社会環境や都市化、市街地化の影響を大きく受けました。昭和62年には土地区画整理事業が着工され、平成5年3月に事業が完了。このため、今日では干拓地のイメージはほとんど見られなくなり、市の中心部的存在として急速に宅地化が進んでいます。このため、減り続ける他町の人口に反して唯一人口・世帯数増加の傾向にあります。

二里町は、有田川と併行して国道202号線とMR松浦鉄道が走り、また、佐世保市や北松浦地区との経済交流圏の重要路として国道204号線、同498号線が走るなど、伊万里市の交通の要路地区となっています。この事から伊万里市経済、産業の発展の重要な部分に位置していると考えられます。

### (2) 人口と世帯数

二里町の人口は、平成2年(国勢調査)の5,980人から平成20年(住民基本台帳)には6,399人と増加しています。これは、市街地隣接地域の世帯数増加の影響と考えられます。65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)は、23.3%で、市の平均である24.5%より少なく移行しています。また、一人暮らしの高齢者世帯は4.9%と市の平均の6.8%を下回っています。一方、年少人口(0～14歳)は平成2年の1,259人から、平成20年には1,043人と、

町の人口増に反して減っており、二里町においても少子高齢化が進んでいます。

町の世帯数は、平成2年の1,766世帯から、平成20年には2,478世帯とほぼ毎年増えつづけています。人口増と比例していますが人口増よりも世帯数の増加が多く、アパート住まいを含めひとり暮らし世帯の増加が見られるようです。

### (3) 二里町の現状と課題

町内の公共施設等は、幼・保育園が5ヶ所、小学校が1校、高等学校が2校あり、病院・診療所10ヶ所、介護保健施設3ヶ所、居宅介護サービス事業所10施設(8ヶ所)、都市公園4箇所、体育施設11施設(3ヶ所)があります。

コミュニティ活動は他町と比較しても活発で、子ども会と自治公民館を中心とした子どもの居場所作りや、ボランティアの町おこしグループが年間を通して活動しています。なかでも「ふたさと生活体験通学塾」は開催期間が7泊8日と長く、市外県外からも注目を集めています。

子どもの安心・安全の確保については、保護者による学校敷地内パトロールや下校時間帯での「子ども見守り隊」の活動が挙げられます。また、二里町内には見守り隊より先に「防犯パトロール員」が稼働しています。これは車を使用した見回りで、機動性の高い犯罪抑止・見守り活動が顕著です。

また、災害発生時等の誘導援助体制については、高齢者や障害者など災害弱者について町全体で支援が行えるよう、地域内の関連施設や各団体との連携を図り、情報の周知・共有化などが進められています。

課題としては、高齢者が安心して充実した暮らしができる環境づくりや、コミュニティ活動でのスタッフやボランティアの確保、「子ども見守り隊」等についてもボランティアに頼った活動のため、いかにして住民の危機意識を高め協力が得られるかにかかっています。また、子どもはもとより、ひとり暮らしの高齢者世帯や、家族が出払った後の一人きりでの留守番世帯など、いつ発生するか予測のつかない事案に対する犯罪抑止活動も重要です。これには、自分自身の健康維持・増進を含め、仲間同士や協力者間でのふれあい創出のためにも、今後、増加していく高齢者や団塊世代の離職者等を、いかに地域に引き出すかに大きく左右されると思われます。

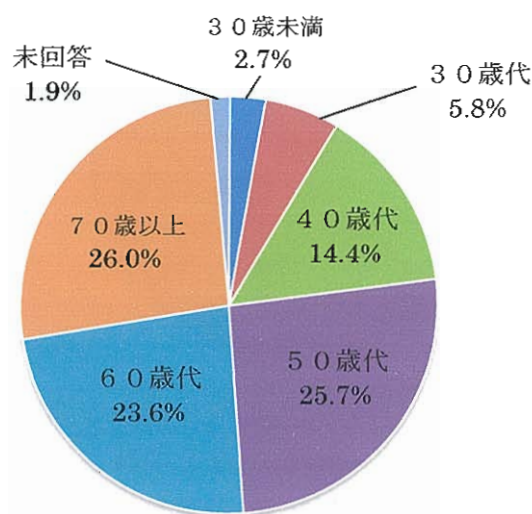
### 3. 町民（全戸）アンケートから見る住民の意見

#### (1) 各問いの分析 （全戸アンケートによる各問いの回答内容）

##### 問1. あなたの年齢をお答えください。

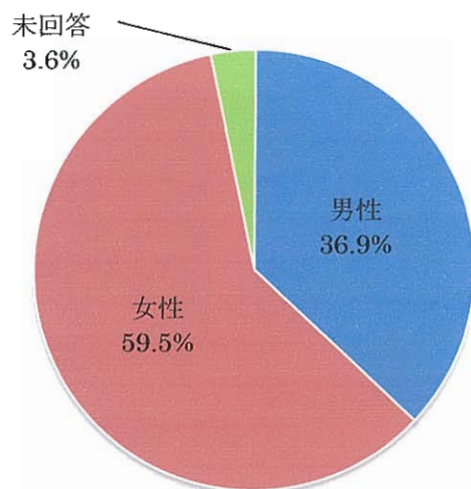
「年齢」では、回答していただくあなた自身についてお尋ねしました。

回答された方の年齢層の4分の3は、50歳代以上の方で、若い年代になるほど低くなる傾向にありました。各家庭内で最年長者の関心の度合いが反映されていると受け取れますが、高齢者世帯の多さも含んでいるようです。



##### 問2. あなたの性別をお答えください。

「性別」では、約6割が女性の回答となっています。回覧物等への家庭内での関心度の表れと受け取れますが、町内に住む男女比に近い数値でもあります。

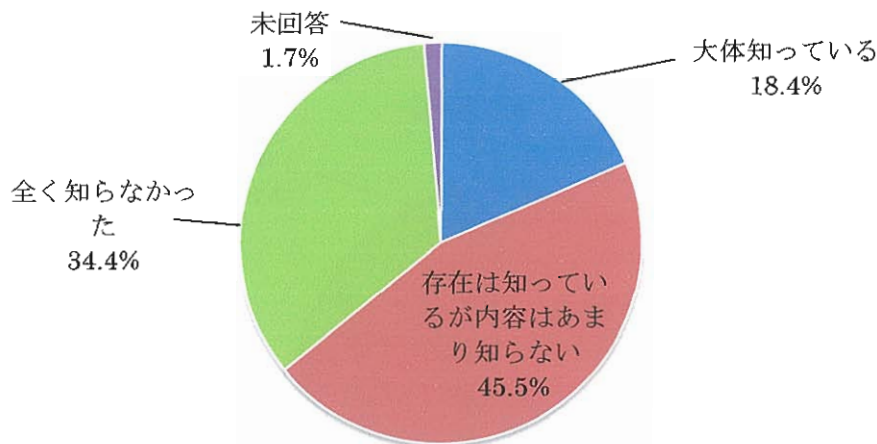




**問3. 「二里町元気なまちづくり推進協議会」を知っていますか？**

「元気づくり協議会」に対する認知度は2割弱で3割強が全く知らなかったと答えています。

男性と女性では「内容まで大体知っている」は男性7.8%に対し、女性は10.9%また、「全く知らない」は男性14.4%に対し、女性は20.7%であり、全体の認知度が低い状況となっています。



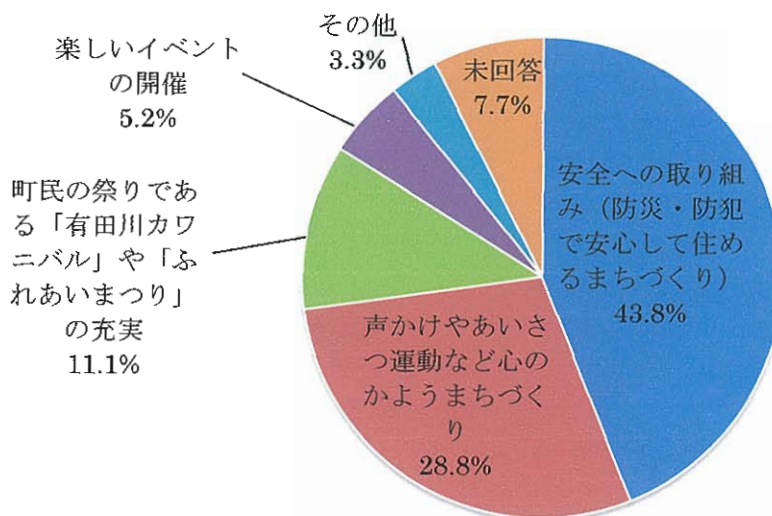
**問4. 「元気づくり協議会」へどのような取り組みを期待しますか？**

元気づくり協議会にどのような取り組みを期待されるかをお尋ねしました。

全体および男女別にみても「安全への取り組み」が1番で、次に「声かけやあいさつなど」を望む声が合わせて7割を超えており、続いて「カワニバル」や「公民館まつり」と続いていました。

その他の意見には、

- ・花のあふれる明るい町づくり
- ・河川敷を利用したウォーキングコース
- ・独身男女の出会いの場づくり
- ・住んでいる地区のことをもっと知ること
- ・ごみのポイ捨て禁止や犬の散歩時のフンの始末とマナーの教育 など



### 問5. 館報を知っていますか？

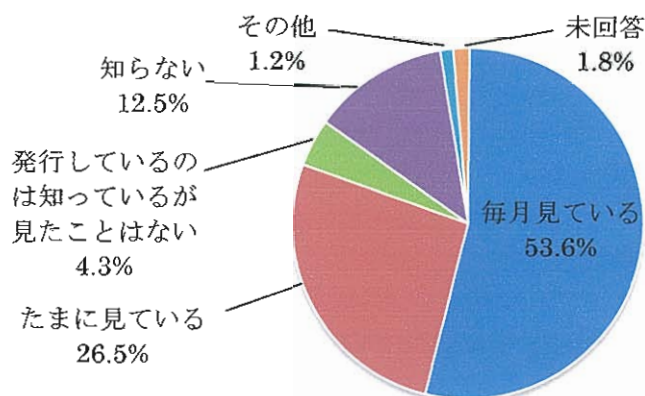
「館報」についてお尋ねしました。

半数以上で毎月見てもらえているようです。館報の内容は限られた紙面を使い、町民への案内・周知を目的としています。が、「見たことはない」と「知らない」が約17%あり、今後さらに内容の充実を図りたいと思います。

その他の意見では、

- ・記載が多すぎて見にくい
- ・一方的な発行でなく意見を聞く館報にしたなら
- ・参加できなかった行事の様子が分かり楽しみにしている 等がありました。

※ 二里公民館に「御意見箱」を設置します。 ←メールBOXを利用する。



### 問6. 地区の活動にどのように関わっていますか？

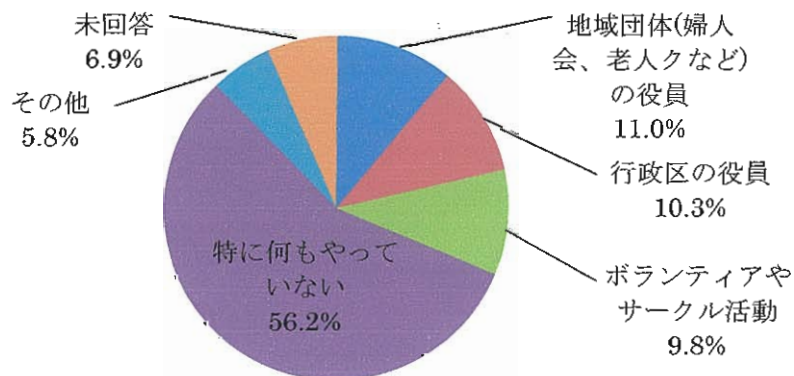
地域（区）活動への関わりをお尋ねしました。

「特に何もやっていない」が5割以上でした。地域団体役員、区の役員、ボランティアやサークル活動などはそれぞれ10%くらいでしたが、この中には2つ以上を兼務される方も含まれているようです。

その他の意見には、

- ・関心はあるが時間に余裕がない
- ・趣味のサークル活動で、それが楽しみ
- ・サークル活動内容を知らせて欲しい 等がありました。

※ 女性は「団体の役員」が、男性は「行政区の役員」が多いようです。



### 問7. カワニバルなどの行事に、どんな思いで参加していますか？

毎年開催している町の行事に対して、どのような思いで参加されているのかお尋ねしました。

「お付き合いで参加」を含めると8割弱が参加されていて、行事に対する前向きな姿勢が伺えます。

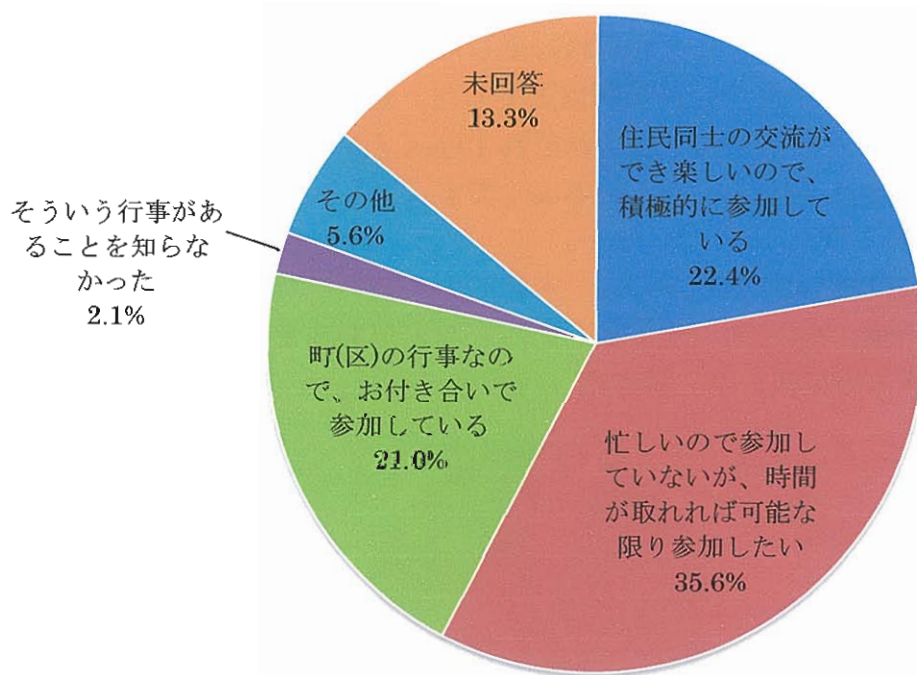
その他の意見には、

- ・参加してとても楽しかった（体育大会）
- ・参加していないが、町民の方々の町づくりに感謝している
- ・町の若い人を中心に内容もいいものになってきている

※カワニバルの時の駐車場を会場の河川敷に作れないかと考えています。

参加していない理由として、

- ・仕事、高齢、病気や障害
- ・役員だけのイベントになっている
- ・あまり有意義と思えない
- ・知人がいない。グループで固まりすぎている
- ・声掛けがないので参加しにくい などがありました。



**問8. 地区のお祭りについて、どのように考えていますか？**

地域（区）の「お祭り」をどのように考えておられるかをお尋ねしました。「お祭り」に対しては80%以上の方が参加しており、「知らなかった」は約4%でした。

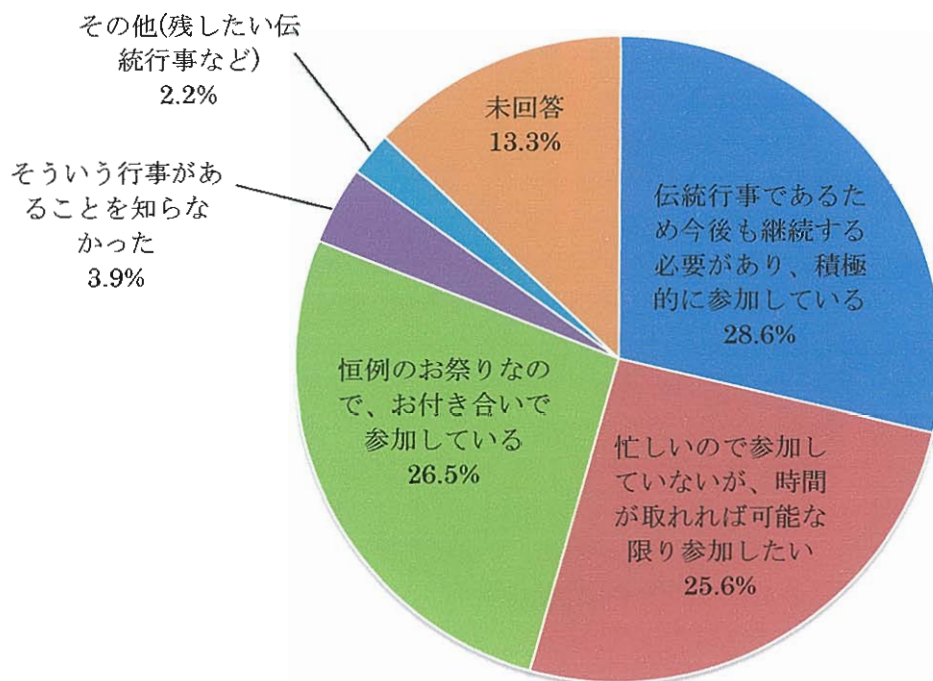
その他の意見として、

- ・伝統行事は続けてもらいたい
  - ・神社の祭りは別に考え、だれでも楽しく参加できる祭りがよい
  - ・家々の営所回しはなくしてもらいたい
- などが出されていました。

また、参加しない理由としては「問7」と同じ内容が多く見られましたが、

- ・若い人達だけで老人を入れない
- ・目的がお酒を飲んで大騒ぎするだけでは楽しめない
- ・残す必要はあると思うが、中身の改善が必要
- ・役員にはとても負担に感じる

などが出されており、形式的になっていることを心配する方もあります。



### 問9. ご近所との付き合いはどの程度していますか？

ご近所との付き合いの程度についてお尋ねしました。

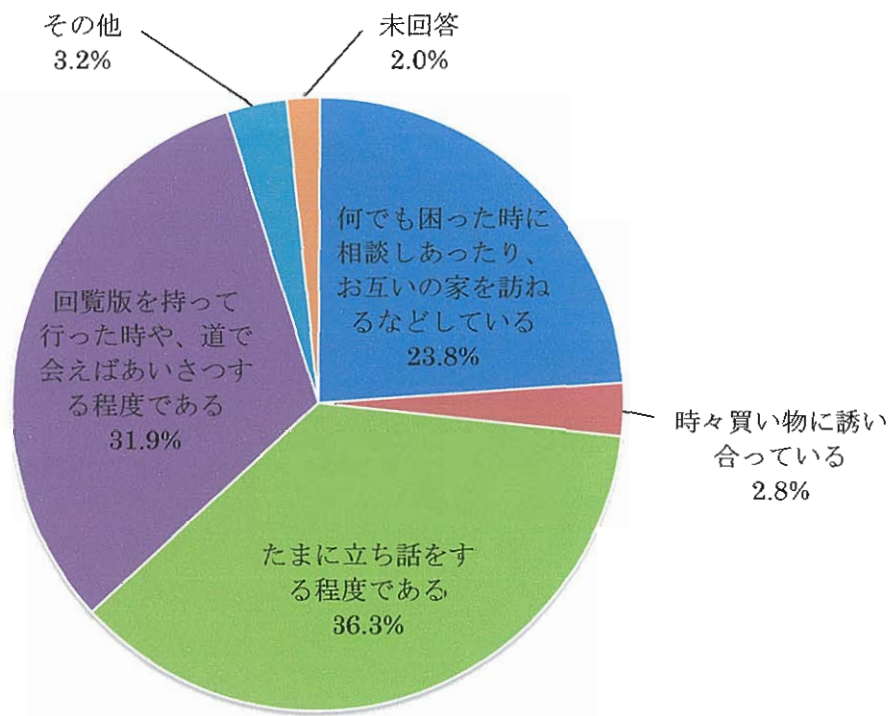
全体では9割以上が何らかの付き合いをされており、大変好ましい状況でした。「何でも相談する」方も約24%ありました。

その他の意見には、

- ・あいさつ程度の交際で寂しい。もっと仲良くしたい
- ・町づくりの中で人づくりの大切さを考えるべき
- ・親戚よりも近くの人が頼りになる
- ・時々近所の草払いをしているが、この先若者がやってくれるだろうか
- ・問題を抱えている人に対しては、地区として支える必要がある
- ・ご近所の名前も顔もあまり知らない

など、アパート、マンションの増加による影響も見られるようです。

※ 女性では「たまに立ち話」が、男性では「あいさつ程度」がトップでした。



**問10. 地区の活動を活発にするには、今後何が必要だと思いますか？**

地域内のコミュニティについてお尋ねしました。

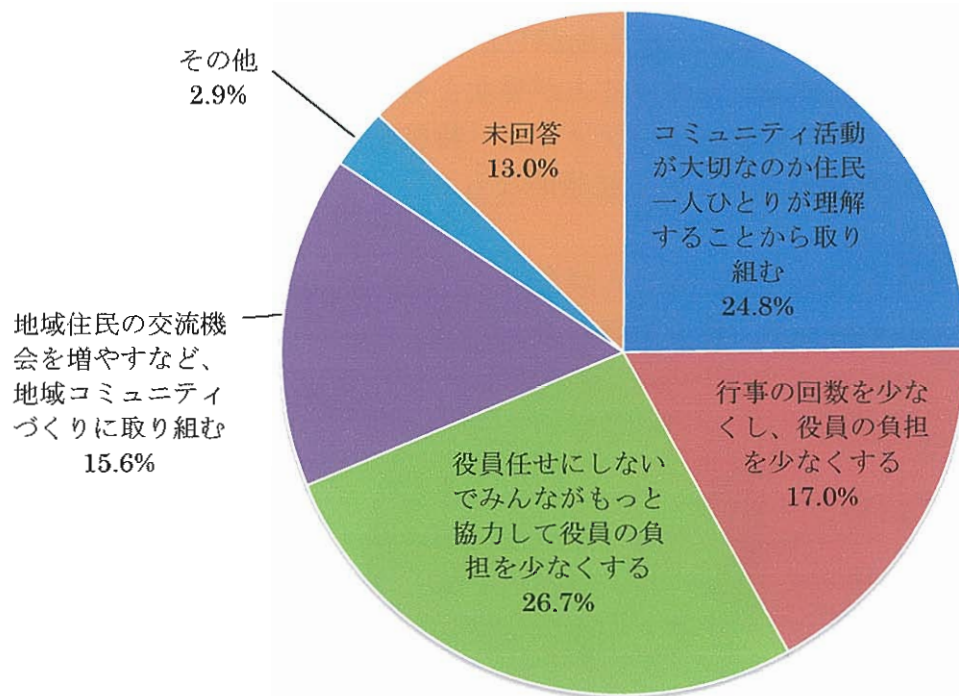
全体の4分の1が、なぜコミュニティ活動が大切なのか一人ひとりが理解することをあげています。また、約45%が行事の回数を減らすなど、役員に協力して負担を減らすことを必要と感じています。

地域コミュニティづくりに対しては、40%強が必要性を上げています。

その他の意見では、

- ・感じたことを話す機会がないので、その機会づくりが必要
- ・民生委員の訪問回数が少ない。台風時などの声掛けは嬉しい
- ・ウォーキングコースがあれば、自然に人が集まり、交流も始まる
- ・知ってもらふ活動。知らないことが多い
- ・子どもと高齢者のふれあいの場を持ち、地域で子どもを育てて欲しいなど、希薄な人間関係を感じて、もっと人情味が欲しいとの思いが出ていました。

※ 男性女性ともに「役員の負担を減らす」が1位で、次に「活動の理解」でした。男性では「交流機会を増やす」「行事を減らす」と続きましたが、女性では3位と4位が逆になっていました。



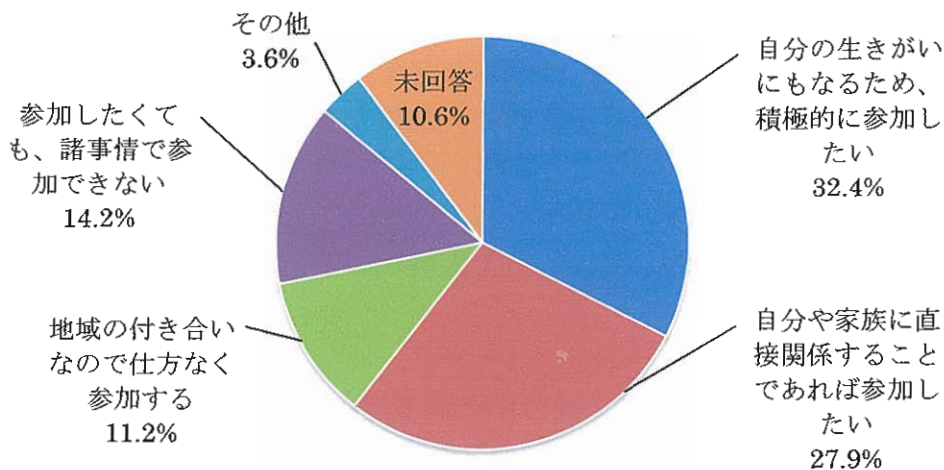
**問 1 1. 地域のためにできることがあれば、積極的に参加したいと思いますか？**

地域のために自分ができるところをお尋ねしました。

付き合いで参加を含めて、7割強が参加協力と答えています。仕事等の事情で参加できない方が約14%ですが、全体で8割以上の方が自分にできることはやりたいと考えておられるようです。

その他の意見には、

- ・市と町の行事の調整不足
  - ・地域のつながりが希薄で、積極的になれない
- など、状況を整理できれば、積極性の向上が図れそうです。



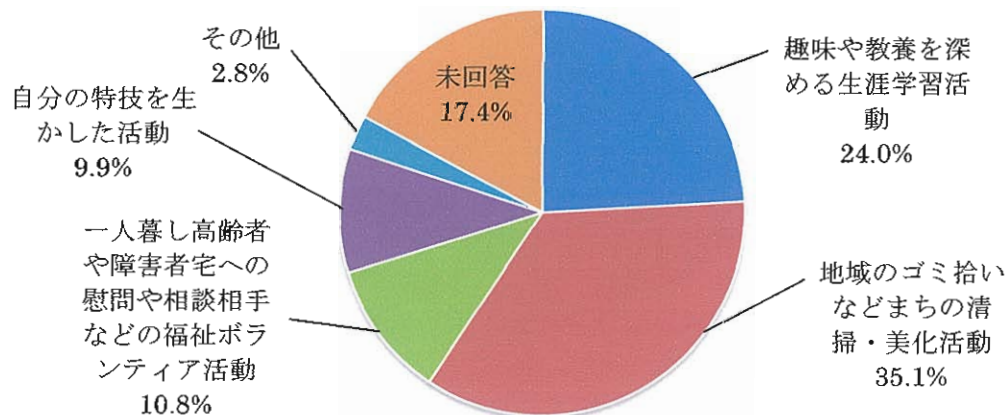
**問 1 2. 問 1 1について、どのような活動に参加したいですか？**

「問 1 1」について、どのような活動がしたいかお尋ねしました。

「地域の清掃、美化活動」を挙げる方が男女ともにトップで、次が「生涯学習」でした。女性では「福祉ボランティア」、「特技を活かす」と続いています。男性は逆に並び、献身的なものや技術的なものに分かれているようです。

その他の意見には、

- ・伊万里の良さを理解していない人が多い
  - ・地区の伝統行事の保存。
  - ・子どもたちへの声かけ（帰りが遅い子へ）
- などがありました。



**問 13. 現在または将来に向けて困っていること、不安や悩みは何ですか？**

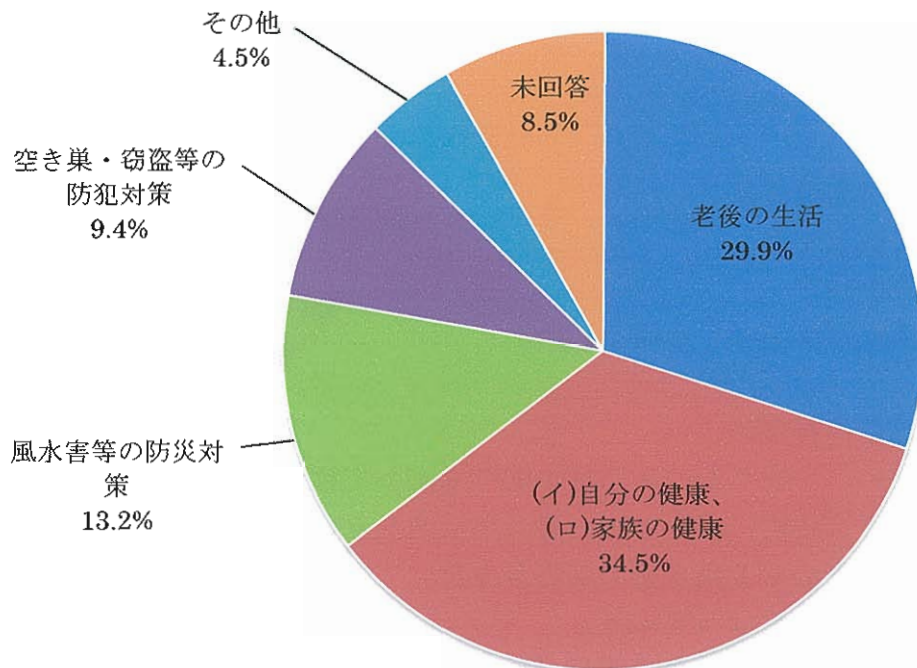
普段の生活で、不安や悩みについてお尋ねしました。

自分や家族の健康を挙げる方が多く、2番目に老後の生活、防災対策、防犯対策と続いています。

その他の意見として、

- ・ 医療や福祉（介護）などの将来に対する不安
- ・ 警察は地元密着型が良い。警官は地域を回って家庭の状況を把握するなど警戒して欲しい。防犯対策で警察が頼りにならない
- ・ 自己中心的な年配の方、近所の悪口を言う年配の方をみるとがっかりする
- ・ 働きたいと思っているが、小学校の児童クラブが三年生までしか預けることができない
- ・ 地域の過疎化
- ・ 農家の後継者の問題
- ・ 車を使える間はいいが、子どもが近くに居ないと不安
- ・ 山間部農地、農道、耕地の荒廃

※ 男女ともに「健康」への関心が高いようです。





**問14-イ. 二里町の好きなところはどこですか？**

**問14-ロ. 二里町の嫌いなところはどこですか？**

二里町の好きなところと嫌いなところをお尋ねしました。

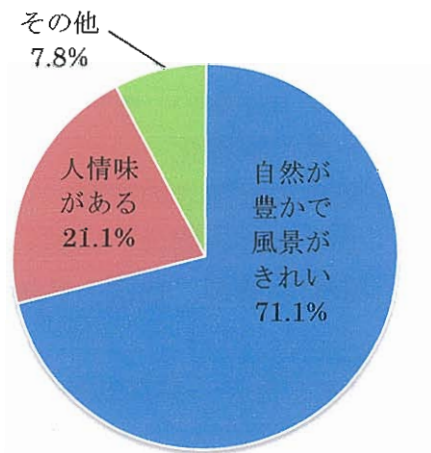
今回のアンケートでは、有効回答数でほとんどの項目で9割以上の回答をいただきましたが、あえてお尋ねした「嫌いなところ」では70%と最低の回答率でした。

「好きなところ」では自然と人情味が、「嫌いなところ」では交通の便と近くに仕事がないと続きました。ここでは「その他」に寄せられた意見が一番多くありました。

**その他の意見**

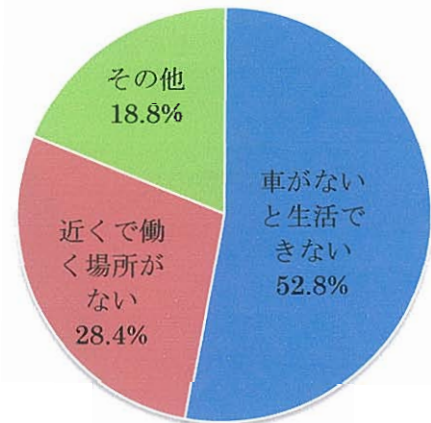
◆「好き」

- ・生活、医療施設が便利
- ・緑が多く、環境が良い、山で遊べる
- ・各方面への交通の便が良い
- ・あまり発展していないところ
- ・川や海が近く、散歩に好都合
- ・知人が良い人ばかりです



◆「嫌い」

- ・学校が遠い
- ・店が少ない（大型店など）
- ・大雨ですぐ冠水する
- ・差別や偏見が多い
- ・買い物に不便（車がないと困る）
- ・行事が多い
- ・道が狭いところが多い
- ・バスが少ない。いまりんバスに月1回でも回って欲しい
- ・図書館もなく文化的にさみしい。若者に活気がない
- ・子どもたちが安心して集まる公園等が少ない
- ・だんだん魚がいなくなっている
- ・有田川、空き地等のセイタカアワダチソウ

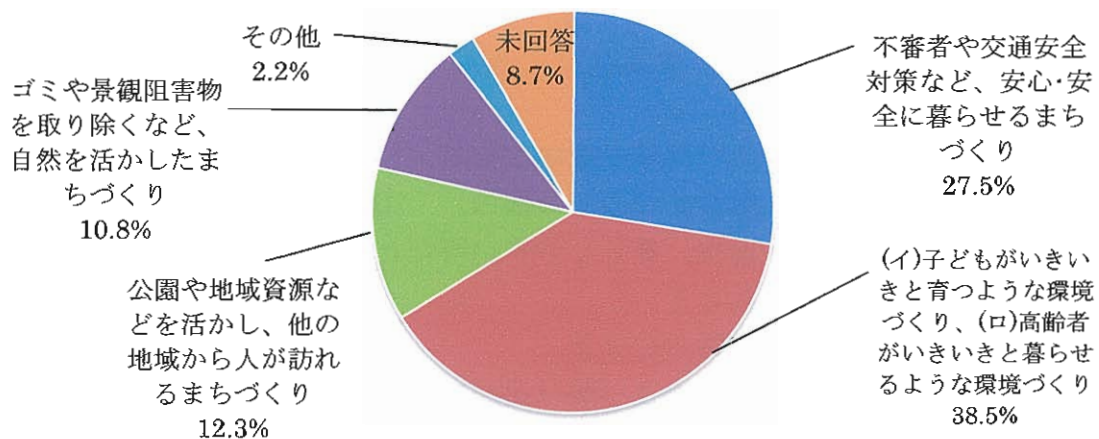


**問 15. 二里町をもっと住み易い地域にする為には、何が必要だと思いますか？**

もっと住み易い地域にするために何が必要だと思われるかをお尋ねしました。男女全体で「子どもや高齢者」の生活環境づくりが一番求められていました。次に「安心・安全」が続き、こうした地域の環境づくりを図りながら、地域資源や自然を活かした町づくりを進めたいというように捉えられます。

その他の意見として、

- ・あいさつの習慣を家庭内でも行う ・町民同士の交流、ふれあい作り
- ・雨天時の子どもの遊び場 ・自治公民館の開放（児童館）地域で子育てを



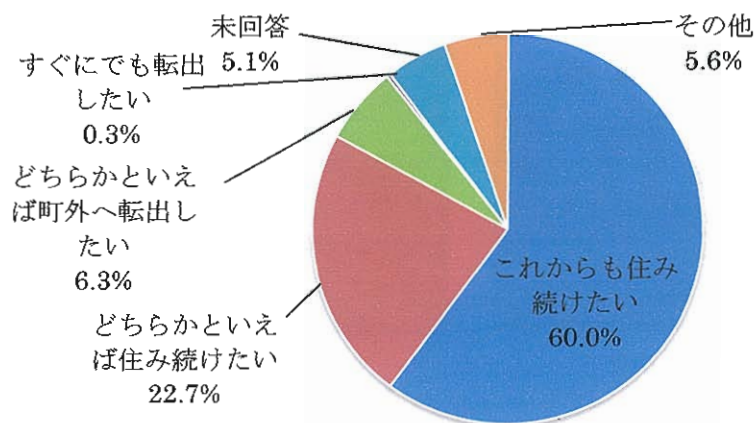
**問 16. これからも二里町に住み続けたいと思いますか？**

これからも二里町に住み続けたいかをお尋ねしました。

「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると約 83% ありましたが、「すぐにでも転出したい」0.3%、「どちらかといえば転出したい」6.3%と約 7%の方が転出を望まれていました。

その他の意見として、

- ・高齢者が車なしで生活できる環境 ・交通手段の充実が必要
- ・街だったら住み続けたい などがありました。



## (2)二里町の良いところ

二里町は、東に腰岳、西に国見山及び烏帽子岳の連山に囲まれ、町の中央を清流有田川が南から北に縦断する、緑に富んだ風光明媚の自然の美しい町です。

町の大きな行事としては5月に「町民体育大会」8月に「有田川カワニバル」11月に「ふれあいまつり」と続きます。ほかにも各地区では神社の祭りや春夏秋冬の祭りが執り行われており、12年に1度の中里地区の「申相撲」や大里区の特設神事「取り追う祭り」などが関係者と住民の努力で連綿と続けられています。

以下に、アンケートで寄せられたご意見等を掲載します。

- ・ 有田川や山、海などがあり環境も豊かである。
- ・ 川や海が近くにあり、散歩するのに好都合。 山で遊べる。
- ・ 緑が多く住むのに良い環境。暮らしやすい町だと思う。
- ・ 藤の花が町の花になったこと。
- ・ 静かで、ゆったりした生活が出来る。
- ・ 国見台運動公園があり、散歩及び駆け足ができる。
- ・ 会社が近く、生活（買い物等）や医療施設に近く便利。
- ・ 知人が良い人ばかりです。
- ・ 自分が生まれ育った場所だから。 地元なので気が楽。
- ・ 保育園から高校まで近くにあり店舗も充実していて生活しやすい。
- ・ 交通の便が良い。有田、佐世保、伊万里、松浦と各方面へ行ける。
- ・ 適度に市内中心部に近くて、便利。まわりも静かで良い。
- ・ あまり発展しすぎていないところ。
- ・ 以前に比べて人の噂をとやかく言う人が少なくなった。



(有田川カワニバル)



(ふれあいまつり)

### (3)二里町の嫌いなところ

二里町に住んでいて、自分が暮らす地域のことを悪く思う人は少ないと思いますが、あえてお聞きすることで今後のまちづくりに活かしたいと考えました。アンケートでは、道路状況や公共交通機関、公園、文化施設等に対する要望が多く寄せられました。また、地域活動に参加したいと思う人の意見も多く見られましたが、いずれも問題点を抱えていました。その問題点を解決した先に新しいまちづくりの姿があるようです。

以下に、アンケートで寄せられた「その他」のご意見を掲載します。

注意：原文には、なるべく手を加えないで掲載しています。表現に厳しいものもありますが、あらかじめご了承をお願いします。

- ・ 歩道の上下りが多くて歩きにくい。それに狭い。危ないです。
- ・ 道が狭い割に、交通量が多い。道が狭いところが多く、危険な時がある。
- ・ 運転マナーが悪い。信号無視、一時停止無視をよく見かける。
- ・ 通学路の安全対策、公園など子どもの遊び場が少ない。
- ・ 自分の地区はバス停・駅まで行くのも歩くには遠いし、寒くなると凍結し、車が出せないのが不便。買い物に不便。(車がないと困る。)
- ・ バスが少ない。8時、12時、16時に運行希望。「いまりんバス」など一ヶ月に一度でも回って欲しい。
- ・ 交通に不便である。高齢になると足腰が痛み、歩くのがつらいので、金武・内の馬場の公民館辺りにタクシーの事務所があったら助かる。老人会や区の常会等に行きたくても行けません。
- ・ 国道202号線沿いに住んでいるため自動車の騒音、ほこり、排気ガスなどに困っています。最近車が増えて用事のため国道を横断するのも非常に時間がかかり朝夕は特に困っています。早くバイパスが出来るように願っています。セラミックロードによる生活効果等。
- ・ 交通事故が多い。大雨ですぐ冠水になり、災害の恐れがある。
- ・ 田舎暮らしは車がないと不便である。企業等、働く場所があれば良い。
- ・ 二里町には町のグラウンドがない。子どもの遊び場、老人のグラウンドゴルフなどのびのびと活動する場所がないので何とかして欲しい。子ども達が安心して集まる公園等が少ない。
- ・ 子どもが安全に遊べる場所がない。開けた公園があるとありがたい。
- ・ 学校が遠い。店が少ない(大型店など)。
- ・ 図書館もなく、文化的にもさみしい。若者に活気がない。
- ・ 文化の香りがないところ。

- ・ モラルの低さ。文化レベルを高く、誇りを持って生活して欲しい。
- ・ 広すぎて…行事に参加しても知り合いが少ない。(新しい人が多い)
- ・ 人情味がある反面人と違うと噂になる。若者の服装や付き合い方等。
- ・ 差別や偏見が多い。人情味が薄い。人間関係が薄弱でもっと絆を深めたい。
- ・ 知人や限られた人だけの集団になる傾向があり、溶け込みにくい。
- ・ 風土。地域のために活動されている方々などがあまり目立ちすぎると、好ましくない態度や、不平不満などを言う人がいる事。
- ・ 地元で力を持った人の意見しか通らない傾向にある。
- ・ 何の行事でも皆でやろうとしない事。毎回出る人は決まっている。
- ・ 個人情報を守る人が多くて困る。人の生活に入り込まないで欲しい。
- ・ 相互互助の姿がないところ。
- ・ 人口が増加する地域と減少する地域があるところ。
- ・ 近所に住む人で、自分勝手にごみを焼却したり、ごみ出しのルールが守られなかったりして迷惑している。ほかにも家庭でのゴミ焼き、野焼きが多い。
- ・ 行事が多い。
- ・ パチンコ店の駐車場からのゴミが散在していて汚い。
- ・ パチンコ店が多いこと。
- ・ 害虫（ハチ、クモ、蚊）が多い。
- ・ だんだん魚がいなくなっている。
- ・ 広告用の看板が多く景観が損なわれる。



(犬のフンのマナーアップ看板)



(有田川河川敷の草払い作業)

#### (4) 課題等の整理

アンケートの集計表を見ると、町民の求めることは「安全への取り組み」が1番多く、続いて「あいさつ」となっていました。また、6割強の方が「地域づくり」に参加したいと考えておられます。具体的には、清掃や美化運動など、自分の体力に合わせてできることから始めたいと考えておられるようです。やはり、そこに住む人にとって周囲の環境は大切です。ゴミの散乱している場所には、不法投棄を含めゴミが集まってきます。一度には無理でも意識を保ちながら少しずつ長く活動を続けることで、視覚的・精神的にも、また、機能的にも住む人にやさしい環境に近づいていくのではないのでしょうか。

次に、生活をして行く中での悩みには「健康問題」があり、高齢化を裏付けるように“老後の生活への不安”などが続いています。二里町は、まだ限界集落になった地区はありませんが、平成20年4月1日現在で「準限界集落」と呼ばれる“集落人口の50%が55歳以上で共同体としての存続が危ぶまれる集落(区)”が3区あります。平成19年度までのデータでは2区となっていましたので、現実として高齢化が進んでいることとなります。

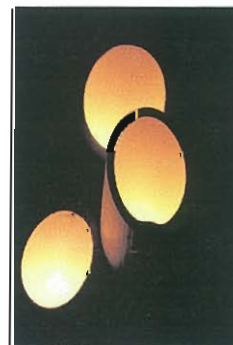
さて、アンケートでは二里町の魅力として、9割を超える方が二里町の“自然と人情”を「好きなどころ」と答えています。豊かな自然とそこに育まれた人情はお金を出して買うことのできない二里町民の自慢であり、誇りでもあります。「嫌いなどころ」では8割弱の方から“車がないと不便”であり“近場に仕事がない”との答えが寄せられました。事実、市街地から周辺に行くに連れて交通や買い物の便が悪くなるようです。また、町外へ車を使って仕事に出かけている姿が浮き出されている一面もあるようです。

生活感を取り入れたまちづくりとして、7割強の方が「子どもや高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり」・「安心・安全に暮らせるまちづくり」を望んでおられました。

元気づくり協議会では、以上の集計結果を踏まえながら、部会別に割振られた意見・要望を取り入れた「元気づくり計画」を策定していきます。



(花いっぱい散歩道ウォーキング)



(観竹まつり)

## (5) 課題を各部会別に整理してみると

### ■ 地域の活性化についての課題

- ・二里町には良い人材がたくさんいるので活用できれば強い力となる。
- ・イベントなど参加したいが、知り合いがおらず参加できないでいる。
- ・カワニバルが役員だけでやっているようであるとの意見がある。
- ・若い人が参加できるように若人に企画の段階から参画してもらう。
- ・
- ・

### ■ 地域づくりについての課題

- ・有田川をどうしていくかがアンケートに多い。
- ・町民からの意見を活用する。→「ご意見箱」を公民館に設置する。
- ・町内にいる「匠の技」人材バンクの作成
- ・二里町の魅力を語る会（高齢者と若者の座談会）
- ・
- ・

### ■ 青少年育成について課題

- ・体験を通した経験学習の実施
- ・「家読」で家庭内での親子読書を推進（躰は家庭から）
- ・地域の祭りなどに子どもの出番を作り、親子の顔の見える場づくり
- ・躰に関して家庭内での教育力を育てよう
- ・

## ■ 健康や福祉について課題

- ・ 差別や偏見のない開かれた心のかよう町づくり。
- ・ 食育の推進（講演会、料理教室など）
- ・ 高齢者ふれあいサロンの開設
- ・ 独身男女の出会いの場づくり
- ・
- ・

## ■ 安心・安全・環境についての課題

- ・ 有田川的环境・美化をテーマに憩いの場を作る。ウォーキングコースの整備など。
- ・ 安心・安全は防災だけではない。食育なども長期的に取り組む必要がある。
- ・ 安全・安心も子どもたちだけでなく、老人に対して声かけなどして欲しい。なかには怖くて町から出る人もいる。
- ・ 「子ども110番」の家の人と児童の対面経験を学習させる。
- ・ カワニバルなどのイベントに合わせて町全体で清掃活動を実施する。
- ・ 民生・児童委員、福祉活動員の存在をもっとPRできないか。
- ・ 里山の保全活動、蛍の舞う川の環境保全。
- ・
- ・



(有田川清掃作業)



## 4. 二里町の未来構想

### (1) こんなにある二里町の魅力

今後のまちづくりを考えるために二里町の魅力を考えてみましょう。二里町は、まちと田舎の両方のよさを持っています。人やつきあいが高く、豊かな自然、新鮮な農産物など田舎としての魅力を持ちながら、市街地に隣接していて商業施設があり買い物に便利だったり大きな病院があったり、これからの生活に欠かせない施設が揃っています。また、申相撲や中里浮立、取り追う祭りなどの歴史や文化の魅力も併せ持っています。

こうした二里町のもっている魅力を、これからもみんなで守り育み元気なまちづくりに活かしていきたいものです。ここでは、二里町の魅力についてヒト・モノ・コトにわけて整理しました。

#### ①ヒトについての魅力

##### ○人が良い

- ・人がやさしい
- ・人情がゆたか
- ・人が親切
- ・純農村地区で住民の方が穏やか
- ・思いやりがある

##### ○つきあいが良い

- ・イベント開催に協力的である
- ・子どもがよくあいさつする
- ・人の輪がある
- ・みんな仲が良い

##### ○人材

- ・ボランティア団体に若い会員が育っている
- ・藤山雷太翁の生家がある

○お年寄り

- ・老人が元気だ
- ・イベントにも協力的だ

○地域の活動に熱心である

- ・ボランティア団体が着実な活動をしている
- ・花いっぱい運動が広がっている町だ

## ②E/についての魅力

○自然が豊か

- ・緑が多い
- ・東に腰岳、西に国見連山がある
- ・蛍の乱舞する牛ノ谷川、吉野川がある
- ・古子滝ふじが地元で守られている

○歴史・文化資源が残っている

- ・申相撲の伝統が続いている
- ・取り追う祭りが復活後続いている
- ・史跡が多い
- ・大庄屋が残っている
- ・黒曜石の産地であった（腰岳）

○新鮮な農産物がとれる

- ・新鮮な野菜がとれる
- ・イチゴ、小ネギ、アスパラなど特産品がある
- ・おいしい棚田米が手に入る
- ・野菜がおいしい

## ②コトについての魅力

- 住みやすい
  - ・ ゆったりした生活ができる
  - ・ 暮らしやすい町だと思う
  
- 買い物に便利
  - ・ 大型店が多く、品数が揃う
  
- 祭りがある
  - ・ カワニバル（夏祭り）がある
  - ・ 各区で伝統的祭りや夏祭りが催されている
  
- 郷土芸能が受け継がれている
  - ・ 中里浮立の伝統が引き継がれている
  
- 交流の場がある
  - ・ スポーツ交流（球技大会7種類）が盛んである（町主催）
  - ・ 町の運動会と各区で運動会・球技大会が実施されている



（町民体育大会）



（町民球技大会）

## (2)住民参加のキーワード

二里町の未来計画を立てるうえで、重要なキーワードを二里町の自然環境や地域の特徴、また、「全戸アンケート調査」の集計や同アンケートに寄せられた手書きの希望・要望などから整理すると、以下のようなキーワードが見えてきます。

- 豊かな自然環境
- 清流有田川
- 厚い人情
- 郷土愛
- 人材
- ふれあい
- 子育て
- 高齢者の暮らし
- 声かけ運動
- 新しい住民
- 歴史・文化
- 伝統継承
- 教育機関の充実
- 運動公園
- 健康づくり
- 自然が残る散歩道
- 地域資源の活用
- 名勝・景勝地
- 安心・安全
- 防犯
- 交通安全
- 交通の要路地域
- 地元の特産物
- 若者の意見と参画



(申相撲)



(古子滝ふじ)



(藤山雷太翁銅像)

### (3) 元気なまちづくりの8つの合言葉

●二里町のたくさんの魅力を活かし、いろいろな課題を解決していくために、次の8つの合言葉を決めたいと思います。この合言葉を基にして、元気なまちづくりを進めていく機運を高めましょう。

#### 1. みんなが楽しく交流できる場にしよう。

- ・みんなが楽しく参加できる催し（若い人の計画段階からの参画）
- ・新しい住民の地域活動への参加（住民同士の交流）
- ・
- ・

#### 2. 特産物など地産地消を推進しよう。

- ・地元の農産物を地元で食べる
- ・地元の農産物を使った特産物をつくる活動
- ・地元の特産品を周知する活動
- ・
- ・

#### 3. 地域の歴史や文化を活かそう。

- ・地域にある伝統行事の復活・伝承活動
- ・町内にある遺跡を知る活動
- ・地域にある資源を発掘する活動
- ・
- ・



(取り道まつり／大里区)

#### 4. 地域の魅力を多くの人に知ってもらおう。

- ・ 二里町のお店などの紹介
- ・ 二里町の名勝・景勝地などの発掘と紹介（写真募集）
- ・
- ・

#### 5. 地域全体で子育ての環境をよくしよう。

- ・ 昔遊びの伝承
- ・ 子どもたちがいろいろ体験できる機会の提供
- ・ 子どもとお年寄りの交流会
- ・
- ・

#### 6. 高齢者等がいきいきと暮らせる地域にしよう。

- ・ 健康づくり活動の推進（住民健診の受診率アップ）
- ・ 地域での福祉活動
- ・ ボランティア活動の充実
- ・
- ・

#### 7. 安心・安全な町にしよう。

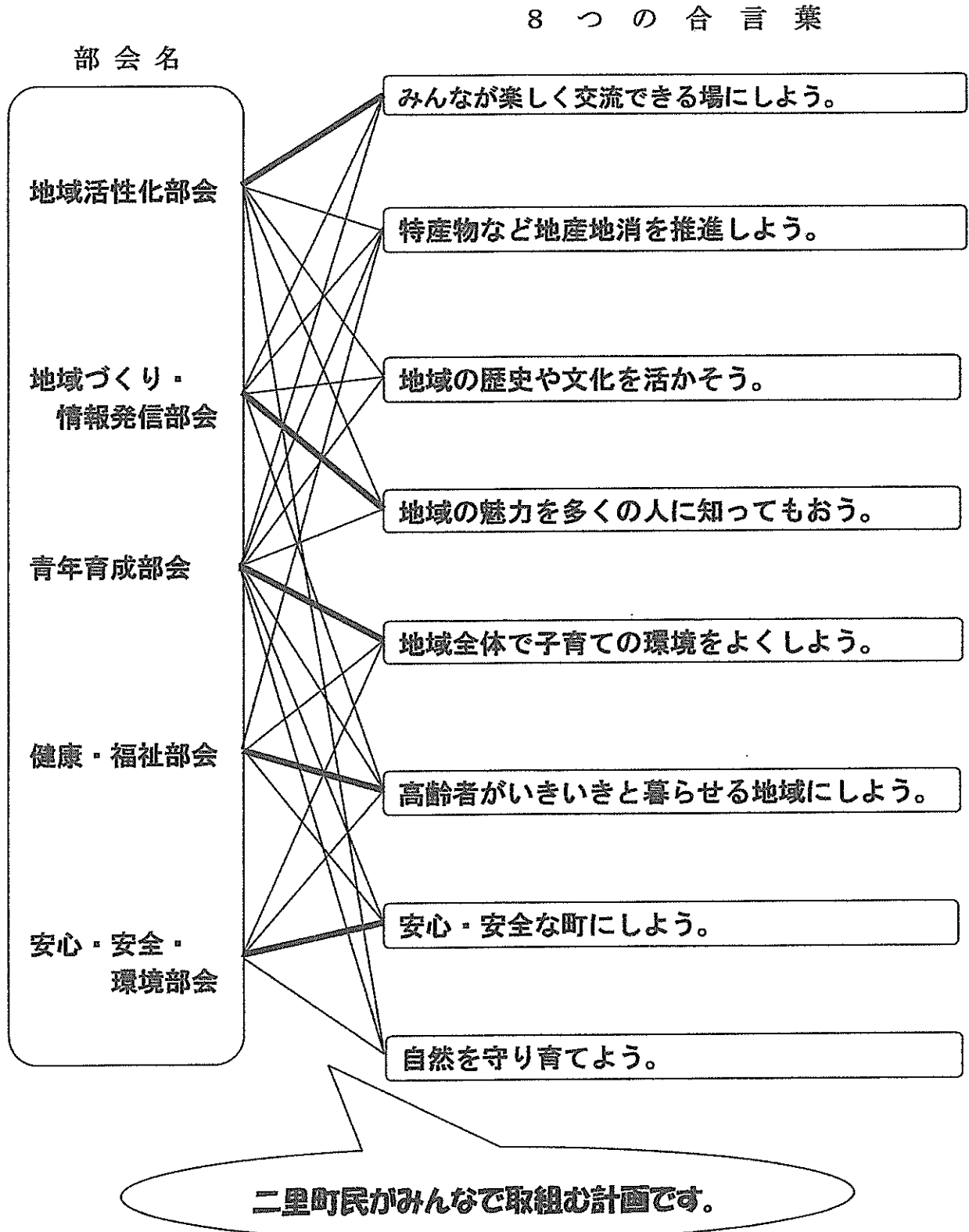
- ・ 防犯・防災対策の推進
- ・ 交通安全対策の推進
- ・ 声かけ運動の推進
- ・
- ・

#### 8. 自然を守り育てよう。

- ・ 自然環境(里山や支流域など)の保全活動
- ・ 有田川・河川敷の清掃活動
- ・ 里山の保全
- ・ 花いっぱい運動の推進
- ・

#### (4) 各部会と8つの合言葉の関係図

元気づくりの各部会と、8つの合言葉の関連について図に表してみました。部会と合言葉では、太い線が強い関係を示しています。また、細い線で部会間がお互いに協力する関係にあることがわかります。



## (5) 事業部会別の受持ち内容

部会名	部会の構成団体名	受持ち内容
地域活性化部会	① 自治公民館長会（区長会） ② 体育協会 ③ 伊万里ふたさと塾 ④ カワニバル、祭り実行委員会 ⑤ 婦人会 ⑥ ボランティア団体 ⑦ 公募住民代表	●みんなが楽しく交流できる場にしよう ・みんなが気軽に参加できる催し ・若者の企画からの参画 ・新しい住民の地域活動への参加 ・みんなで声かけ、参加の輪づくり ・まつりの工夫、魅力を高める
地域づくり・情報発信部会	① ボランティア団体 ② 農協関連団体 ③ 商工関連団体 ④ 祭り実行委員会 ⑤ 公募住民代表	●地域の魅力を多くの人に知ってもらおう ・特産物など地産地消を推進 ・地域の歴史や文化を活用 ・二里町の魅力を語る会（仮称：老若会） ・町内人材バンク作成と活用 ・「ご意見箱」の設置と活用 ・独身者の出会いの場づくり ・二里町の辞書、方言の本づくり
青少年育成部会	① 青少年育成町民会議 ② 子ども会育成連合会 ③ PTA、幼保、学校関係者 ④ 青少年指導委員会 ⑤ 主任児童委員 ⑥ 体育協会 ⑦ ボランティア団体	●地域全体で子育ての環境をよくしよう ・昔遊びの伝承 ・子どもたちにいろいろな体験ができる機会の提供 ・子どもとお年寄りの交流会 ・児童館として公民館の活用を図る ・「家読」で家庭内での親子読書の推進
健康・福祉部会	① 民生・児童委員会／福祉動員 ② ふれまち推進協議会(地区社協) ③ 老人クラブ ④ 婦人会 ⑤ 福祉関連団体 ⑥ 体育指導員（体協） ⑦ 人権・同和教育推進協議会 ⑧ ボランティア団体	●高齢者等がいきいきと暮らせる地域にしよう ・ボランティア活動の充実 ・健康づくり（健診の受診率アップ） ・地域での福祉活動(含：地区社協) ・差別や偏見のない開かれたまちづくり ・食育の推進（講演会、料理教室） ・ふれあいサロンの開設
安心・安全・環境部会	① 防犯協会 ② 交通対策協議会 ③ 交通安全協会 ④ 消防団 ⑤ 子ども見守り隊 ⑥ 花いっぱい委員会 ⑦ ボランティア団体	●安心・安全な町にしよう ・防犯・防災対策の推進(避難所の周知) ・交通安全対策(警察と連携) ・声かけ運動の推進 ・自然環境(里山や支流など)の保全活動(蛍の舞う川、竹炭の活用・販売) ・有田川、河川敷の清掃活動 ・花いっぱい運動の推進・講習会の実施



## 5. まちづくりの基本計画 (1) まちづくりのスケジュール

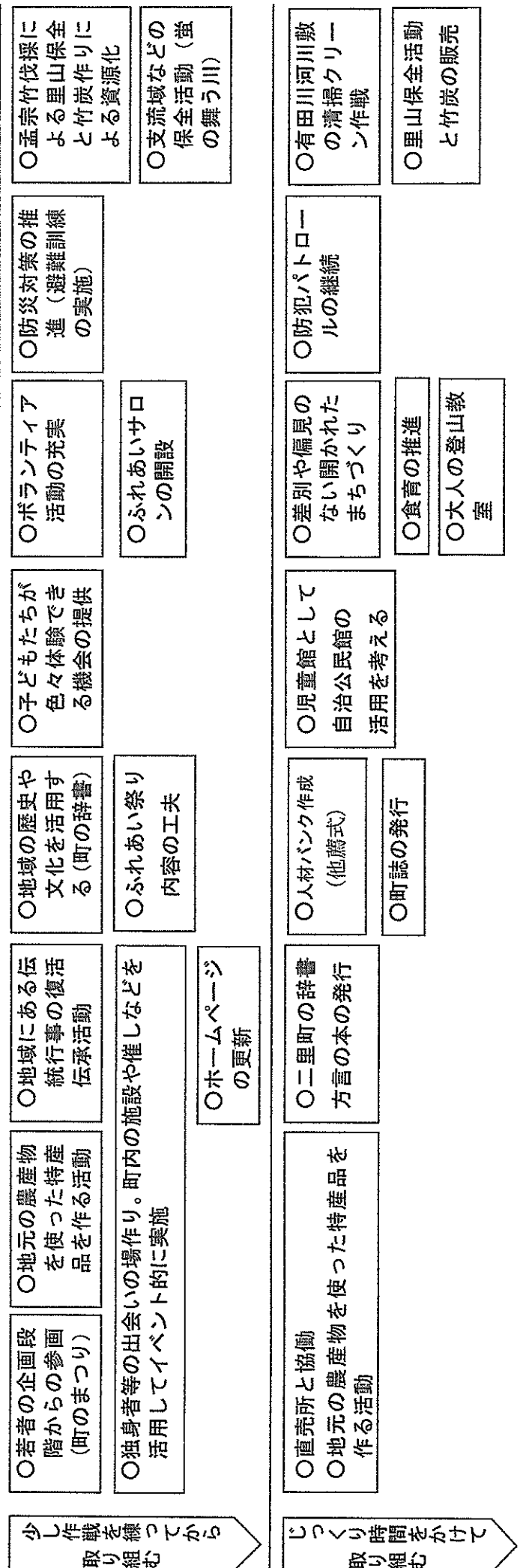
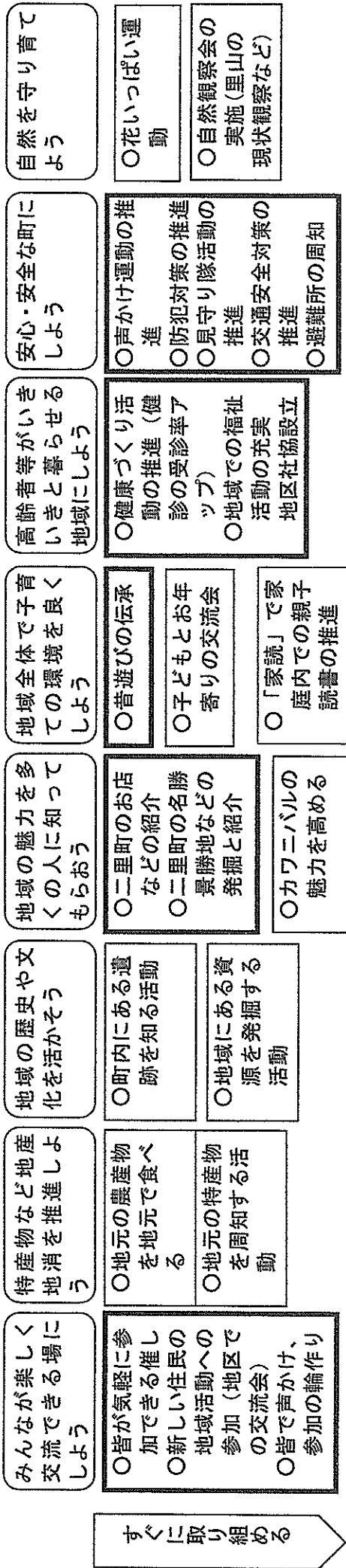
8つの合言葉を実現させるために出てきた主なアイデアを以下に掲載します。他にもいろいろな活動や仕組み作りがあります。活動の際の参考にしてください。

(○印は住民がリーダーシップをとって進める取り組み ◎印は行政のリーダーシップが必要な取り組み)

### 二里町元気づくり計画

初めの一歩プロジェクトについて

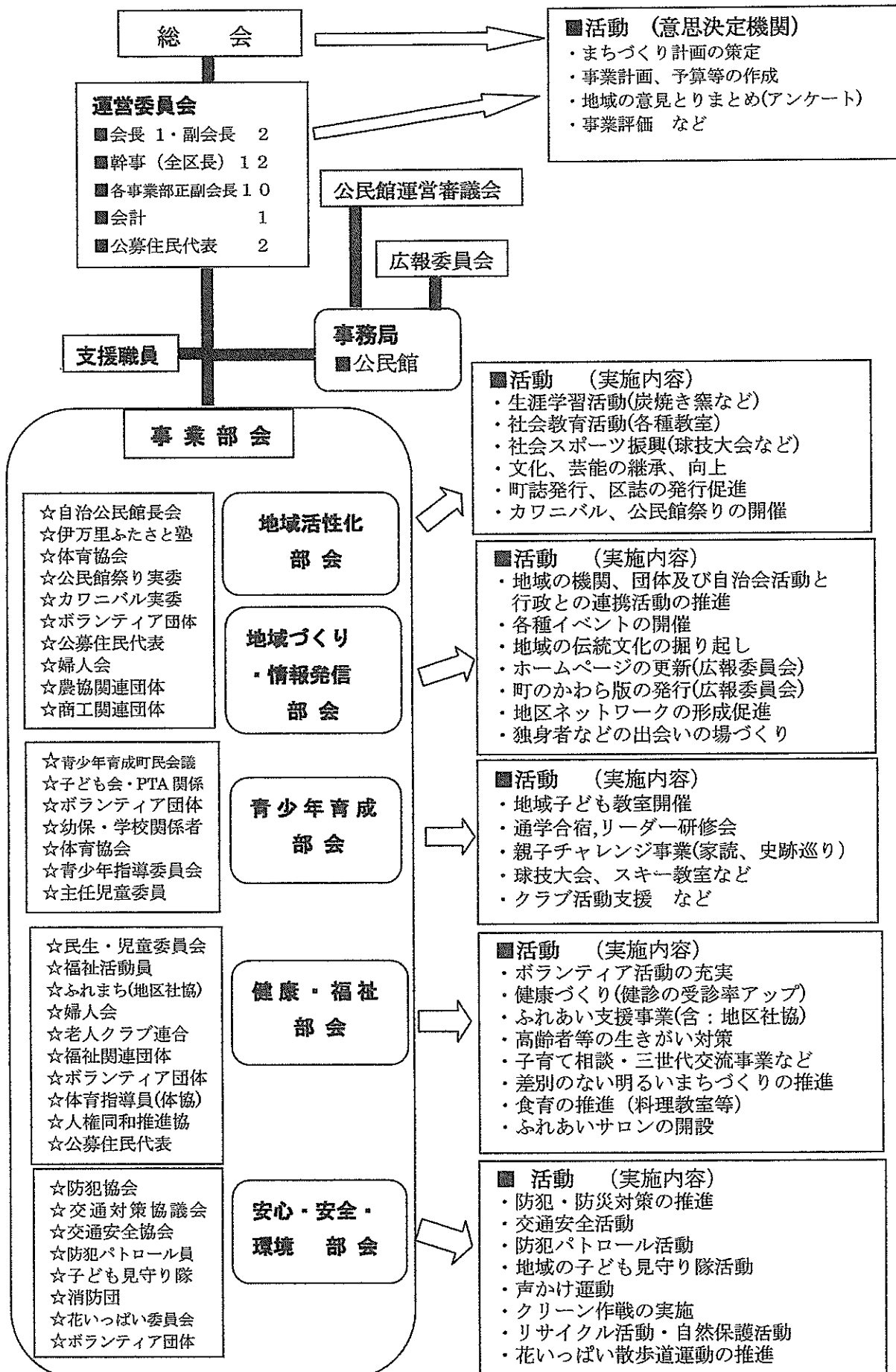
太線になってる5つのプロジェクトは、いろいろな取り組みを検討する中で特に実行していきたいプロジェクトです。





## 6. 元気づくり計画の実施に向けて

### (1) 二里町元気なまちづくり推進協議会の組織



## (2)二里町元気づくり推進協議会 事業部会構成員

平成21年6月4日現在

幹	事業部会名	構成団体名	代表者①	代表者②	代表者③	区長会	運営委員	支援職員	
A	地域活性化部会 正:田中秀明 副:浦川文江	自治公民館長会(区長会)	田中秀明	金子幹夫	池田己代次	田中 会長 吉野 区長 古子 区長	吉富伸克 田中秀明 堀登喜子 池田隆司	川棚正則  (二公職員) 主西岡信利 副桑原雄介	
		体育協会	益田和義	永田誠一郎	堀登喜子				
		伊万里ふたさと塾	山下テル	吉永ミチエ	峯洋子				
		まつり実行委員会	田中秀明	堀登喜子	吉永茂樹				
		婦人会	堀登喜子	前川眞沙子	福田重子				
		ボランティア団体	吉永茂樹	梶山芳弘	福母秀一				
		住民代表(公募)	池田隆司		—				
	地域づくり・情報発信部会 正:福田広圭 副:吉永茂樹	ボランティア団体	吉永茂樹	梶山芳弘	福母秀一	田中 会長 川東 区長 中田 区長	吉富伸克 田中秀明 吉永茂樹 浦川文江	力武圭介 山崎淳一 (二公職員) 主桑原雄介 副西岡信利	
		農協関連団体	山口長	福田広圭	浦川文江				
		商工関連団体	福田高岐						
		まつり実行委員会	田中秀明	堀登喜子	吉永茂樹				
		住民代表(公募)	池田隆司		—				
	B	青少年育成部会 正:堀登喜子 副:吉富和敏	青少年育成町民会議	堀登喜子	金子幹夫	山崎俊幸	金子副会長 福母 区長 川内 区長	吉富伸克 堀登喜子 吉富和敏 益田和義	渡邊みゆき  (二公職員) 主桑原雄介 副西岡信利
			子ども会育成連合会	吉富和敏	前田洋	前田延子			
PTA,幼保,学校関係者			武富清	福田広圭	鳥山 努				
青少年指導委員会			清水智	牧瀬弘康	山崎光英				
主任児童委員			松尾宏	吉永元子	—				
体育協会			益田和義	永田誠一郎	堀登喜子				
健康・福祉部会 正:牧瀬 巖 副:原田玲子 副:池田隆司		民生・児童委員会	池田誠三郎	山崎俊幸	原口京子	金子副会長 東八 区長 作井手区長	吉富伸克 堀登喜子 金子幹夫 池田誠三郎 田中寛次	山崎淳一 渡邊みゆき  (二公職員) 主西岡信利 副桑原雄介	
		福祉活動委員	米岡初代	吉永ミチエ	大宅康子				
		ふれまち(地区社協)	池田誠三郎	田中秀明	堀登喜子				
		老人クラブ連合	田中寛次	北川康雄	峯美恵子				
		婦人会	堀登喜子	前川眞沙子	福田重子				
		福祉関連団体	大宅啓子	牧瀬隼人	條島久子				
		体育指導委員(体協)	山崎千代子	前田浩信	池田青穂				
		人権・同和教育推進協	永益隆弘	金子幹夫	堀登喜子				
安心・安全・環境部会 正:清水 智 副:福母秀一	防犯協会	堀良夫	田中秀明	前田 浩	金子副会長 大里 区長 内の馬場区長	吉富伸克 田中秀明 吉永ミチエ 福母秀一	力武圭介 川棚正則  (二公職員) 主古賀竜二 副西岡信利		
	交通対策協議会	金子幹夫	前田儀三郎	山崎俊幸					
	交通安全協会	前田儀三郎	金子幹夫	堀登喜子					
	消防団二里分団	力武博典	浦川徳弘	村岡俊雄					
	子ども見守り隊	福田新三郎	本山邦彦	浦川真由美					
	防犯パトロール員	松尾義廣		—					
	花いっぱい委員会	吉永ミチエ	松尾康子	片岡マサ子					
ボランティア団体	吉永茂樹	梶山芳弘	福母秀一						
伊万里警察署	一ノ瀬 亘	野口直哉	—						

\* 各団体からの部会代表者の変更は「団体代表者選任届」でお願いします。

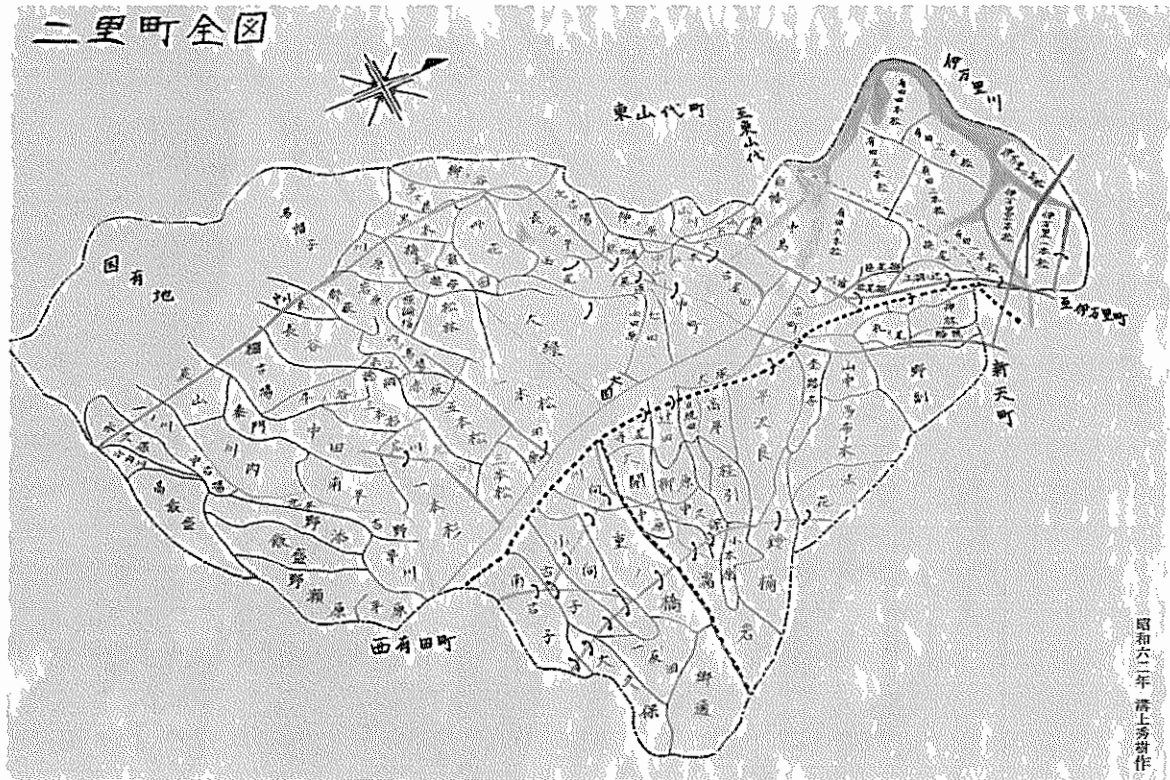
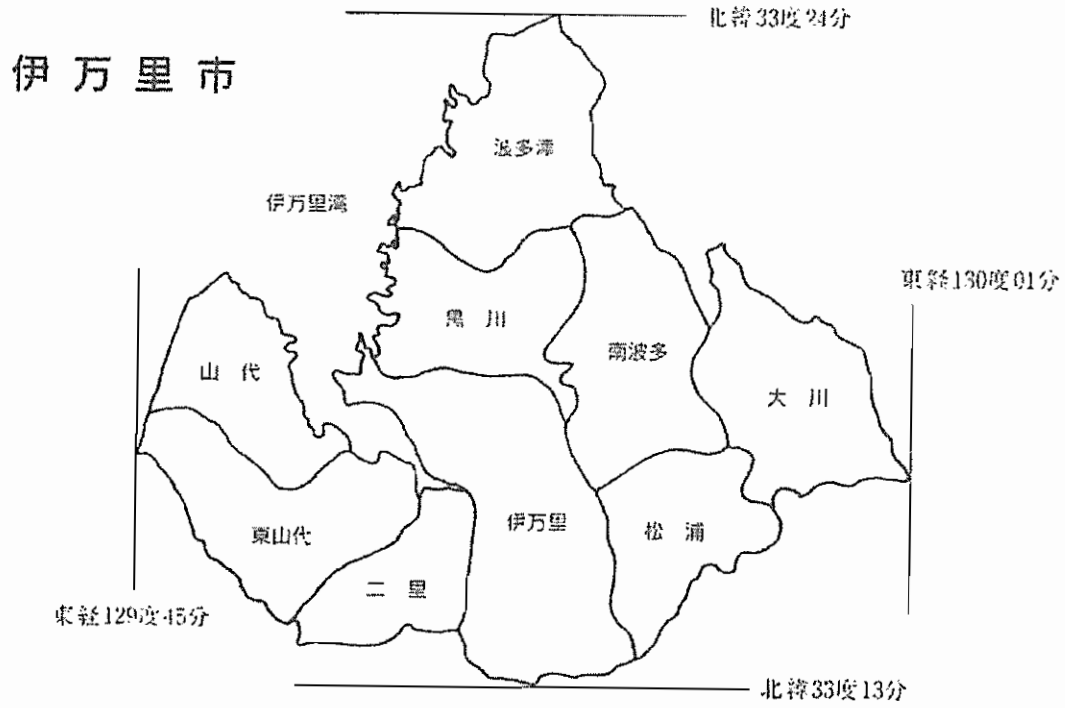
地域の元気推進事業 二里町元気なまちづくり計画策定経過

平成20年度分

日付	協議事項ほか	出席者	適 用
4月16日	市まちづくり課との協議(二里公)	5名	古瀬副部長、池田副課長、野中係の3名
25日	第1回設立準備委員会	9名	正・副委員長選出
5月8日	地元市議会議員と意見交換	4名	公民館事務室
16日	支援職員との意見交換会	全16名	市民プラザ
22日	元気推進事業の説明会	延103名	交対協、交安協、防犯協会 各総会にて
26日	第2回設立準備委員会	10名	推進スケジュールと規約の検討
6月20日	第3回設立準備委員会	15名	地元支援職員との意見交換会
24日	元気推進事業の説明会	延56名	同推協、まちづくり促進協 各総会にて
7月1日	館報にて全世帯への周知	—	協議会発足と全戸アンケート実施の案内
4日	元気推進事業の説明会	延86名	青少協、ふれまち協 各総会にて
8日	元気推進事業の説明会	16名	区長会にて進捗状況の説明
14日	第4回設立準備委員会	15名	地元支援職員との交流会
29日	元気づくり協議会設立総会	42名	名称・規約決定。役員選出ほか
8月1日	元気づくり協 運営委員の募集	—	二里町内全戸に「募集チラシ」配付
8日	アンケート説明会実施要望調査	15名	8月区長会にて取りまとめ
9月1日	アンケート用紙配付	—	8区(約1800戸)に配付する
3日	元気推進事業の説明会	8名	公民館運営審議会にて進捗状況説明
12日	全世帯アンケートの説明会	18名	西八区 役員、評議員、各班長
18日	全世帯アンケートの説明会	13名	金武区 役員、各班長
20日	全世帯アンケートの説明会	16名	中田区 役員、住民
23日	全世帯アンケートの説明会	18名	古子区 役員、住民
10月1日	「館報」の名称を明示する	—	アンケートの提案から
5日	元気づくりウォーキングの実施	約100名	町内歴史ウォーキング
6日	元気推進事業の研修会(各町から)	約25名	市民プラザ(今泉重敏氏)
7日	アンケート用紙回収率集計	—	事務局
8日	アンケート内容集計開始	—	事務局
9日	地元職員と区長会との懇談会(案)	16名	10月区長会に提案する
22日	アンケート結果のグラフ化依頼	—	本庁情報広報課に依頼する
11月26日	市まちづくり課との協議(二里公)	4名	古瀬副部長、池田副課長の2名来館
28日	先進地視察(二里町から5名参加)	全34名	宗像市南郷区コミュニティ運営協議会
12月1日	アンケートの単純集計を館報掲載	—	二里町内全戸配付
8日	第1回運営検討委員会	12名	課題の整理と事業計画
11日	アンケート「意見・要望」の冊子配付	30名	配付対象:各区长、運営委員、支援職員
1月1日	運営検討委員会の開催を周知	—	1月館報掲載(全戸配付)
16日	ふたさと会と区長会の交流会	34名	1月区長会終了後
20日	「ご意見箱」を公民館に設置	—	先進地事例とアンケートの提案から
27日	第2回運営検討委員会	17名	「8つの合言葉」を検討、部会に提出
2月19日	元気推進事業の研修会(各町から)	全24名	市民プラザ(今泉重敏氏)
23日	地域活性化部会(運営委員会)	30名	課題の整理および具体的提案の協議
23日	地域づくり・情報発信部会(運営委員会)	22名	課題の整理および具体的提案の協議
25日	青少年育成部会(運営委員会)	32名	課題の整理および具体的提案の協議
25日	健康・福祉部会(運営委員会)	39名	課題の整理および具体的提案の協議
25日	安心・安全・環境部会(運営委員会)	38名	課題の整理および具体的提案の協議
3月6日	地域づくり・情報発信部会	6名	副部長選出
6日	安心・安全・環境部会	6名	副部長選出
9日	健康・福祉部会	15名	部長選出
10日	地域活性化部会	17名	部長選出
10日	青少年育成部会/健康・福祉部会	15名	部長・副部長選出
13日	安心・安全・環境部会	6名	部長選出
26日	元気づくり協議会運営委員会	15名	元気づくり計画の承認
26日	元気推進事業の説明会	10名	公民館運営審議会にて説明
30日	元気づくり計画書印刷(概要版)	—	3,000部(A3両面・2色刷り)
4月15日	元気づくり計画書(概要版)配付	—	二里町内全戸(約2,400部)
	その他:平成21年1月20日「ご意見箱」を二里公民館に設置する。		

# 資料編

(1) 二里町の位置関連







# 限界集落 概要

長野大学教授（高知大学名誉教授）である大野晃が、高知大学人文学部教授時代の1991年（平成3年）に最初に提唱した概念である。

中山間地や離島を中心に、過疎化・高齢化の進行で急速に増えて来ている。

このような状態となった集落では、集落の自治、生活道路の管理、冠婚葬祭など、共同体としての機能が急速に衰えてしまい、やがて消滅に向うとされている。共同体として生きてゆくための「限界」として表現されている。

「限界集落」には、もはや就学児童より下の世代が存在せず、独居老人やその予備軍が残っている集落が多く、病身者も少なくないという。

大野は、65歳以上の高齢者が自治体総人口の過半数を占める状態を「限界自治体」と名付けた。「限界集落」は、この定義を集落単位に細分化したものである。

限界集落に次ぐ状態を「準限界集落」と表現し、55歳以上の人口比率が50%を超えている場合とされる。また、限界集落を超えた集落は「超限界集落」から「消滅集落」へと向う。

大野によれば、2000年現在で「限界自治体」となっているのは中国地方に1つだけであるが、2015年には51、2030年には144自治体が「限界自治体」に転落するという（ただし、2005年以降の市町村合併は考慮に入れていない）。

財政再建団体となった北海道夕張市は、2006年現在、65歳以上比率が41%と市ではもっとも高齢者比率が高く、財政再建の前に市が消滅するのでは、という切迫した問題がある。

もともと、大野の研究では、林業の衰退と再建をテーマにしていた。

輸入木材によって国内の林業は衰退し、山村の人口減と高齢化、それにより手入れの行き届かなくなった人工林（ことに、スギ・ヒノキの針葉樹林）の荒廃。さらには集落そのものの消滅が進みつつあった。大野は集落の実態調査を進めてゆくうち、その現状を指摘するためには「過疎」という用語では、実態とずれていると思った。そこで、より深刻な実態を指摘するために生まれた用語が「限界自治体」「限界集落」であった。

## 限界集落 限界集落の区分

名称	定義	内容
存続集落	55歳未満 人口比50%以上	跡継ぎが確保されており、共同体の機能を次世代に受け継いで行ける状態
準限界集落	55歳以上 人口比50%以上	現在は共同体の機能を維持しているが、跡継ぎの確保が難しくなっており、限界集落の予備軍となっている状態
限界集落	65歳以上 人口比50%以上	高齢化が進み、共同体の機能維持が限界に達している状態
消滅集落	人口0	かつて住民が存在したが、完全に無住の地となり、文字通り集落が消滅した状態

### (3)町民(全戸)アンケートから見る住民の意見

(1)住民アンケート調査単純集計結果

有効回答数 917人(戸)

#### [I] 回答していただくあなた自身について

問1. 年齢層 917人 (100%)

①30歳未満	25人 (2.7%)	②30歳代	53人 (5.8%)
③40歳代	132人 (14.4%)	④50歳代	236人 (25.7%)
⑤60歳代	216人 (23.6%)	⑥70歳以上	238人 (26.0%)
⑦未回答	17人 (1.9%)		

問2. 性別 917人 (100%)

①男性	338人 (36.9%)	②女性	546人 (59.5%)	③未回答	33人 (3.6%)
-----	--------------	-----	--------------	------	------------

#### [II] これからの「まちづくり」への期待

問3. 「元気づくり協議会」を知っていますか? 917人 (100%)

①大体知っている	169人 (18.4%)
②存在は知っているが内容は知らない	417人 (45.5%)
③全く知らなかった	315人 (34.4%)
④未回答	16人 (1.7%)

問4. 「元気づくり協議会」にどのような期待をしますか? 1,162人 (127%) ※複数回答有

①安全への取り組み	509人 (43.8%)	②声かけや挨拶など	335人 (28.8%)
③祭りの充実	129人 (11.1%)	④イベントの開催	61人 (5.2%)
⑤その他	38人 (3.3%)	⑥未回答	90人 (7.7%)

#### [III] 配布文書に対する意識

問5. 「館報」を知っていますか? 927人 (101%) ※複数回答有

①毎月見ている	497人 (53.6%)	②たまに見ている	246人 (26.5%)
③知っているが見たことはない	40人 (4.3%)	④知らない	116人 (12.5%)
⑤その他	11人 (1.2%)	⑥未回答	17人 (1.8%)

#### [IV] 地域との関わり

問6. 地域(区)の活動にどのように関わっていますか? 938人 (102%) ※複数回答有

①地域団体の役員	103人 (11.0%)	②行政区の役員	97人 (10.3%)
③ボランティア・サークル等	92人 (9.8%)	④特に何もしていない	527人 (56.2%)
⑤その他	54人 (5.8%)	⑥未回答	65人 (6.9%)

#### [V] 町の行事との関わり

問7. 町の行事に対して、どのような考えで参加していますか? 915人 (100%) ※複数回答有

①積極的に参加している	205人 (22.4%)
②時間が取れば可能な限り参加したい	326人 (35.6%)
③お付き合いで参加している	192人 (21.0%)
④行事自体を知らなかった	19人 (2.1%)
⑤その他	51人 (5.6%)
⑥未回答	122人 (13.3%)

#### [VI] 区の行事との関わり

問8. 地域(区)の「お祭り」をどう考えていますか? 927人 (101.1%) ※複数回答有

①積極的に参加している	265人 (28.6%)
②時間が取れば可能な限り参加したい	237人 (25.6%)
③お付き合いで参加している	246人 (26.5%)
④行事自体を知らなかった	36人 (3.9%)
⑤その他	20人 (2.2%)
⑥未回答	123人 (13.3%)

#### [VII] 地域内での住人同士の関わり

問9. ご近所とのお付き合いはどの程度ですか? 1,040人 (113%) ※複数回答有

①何でも相談する	248人 (23.8%)	②時々買い物へ誘う	29人 (2.8%)
③たまに立ち話	377人 (36.3%)	④挨拶程度	332人 (31.9%)
⑤その他	33人 (3.2%)	⑥未回答	21人 (2.0%)

## [VIII] 住民が求めるコミュニティ活動

問10. 地域内のコミュニティ活動を活発にするために何が重要だと思いますか? 981人 (107%) ※複数回答有

- |                        |      |         |
|------------------------|------|---------|
| ①コミュニティの大切さを一人ひとりが理解する | 243人 | (24.8%) |
| ②行事を減らし、役員の負担を少なくする    | 167人 | (17.0%) |
| ③みんなが協力して役員の負担を少なくする   | 262人 | (26.7%) |
| ④住民同士の交流機会を増やす         | 153人 | (15.6%) |
| ⑤その他                   | 28人  | (2.9%)  |
| ⑥未回答                   | 128人 | (13.0%) |

## [IX] 地域づくりへの思い

問11. 地域のために自分ができることがあれば参加したいと思いますか? 935人 (102%) ※複数回答有

- |                        |      |         |
|------------------------|------|---------|
| ①積極的に参加したい             | 303人 | (32.4%) |
| ②自分や家族に関係することであれば参加したい | 261人 | (27.9%) |
| ③付き合いで仕方なく参加する         | 105人 | (11.2%) |
| ④諸事情で参加できない            | 133人 | (14.2%) |
| ⑤その他                   | 34人  | (3.6%)  |
| ⑥未回答                   | 99人  | (10.6%) |

## [X] 住民が求める活動内容

問12. 「問11」についてどのような活動がしたいですか? 1,015人 (111%) ※複数回答有

- |                  |      |         |
|------------------|------|---------|
| ①趣味や教養を深める生涯学習活動 | 244人 | (24.0%) |
| ②ゴミ拾いなどの清掃・美化活動  | 356人 | (35.1%) |
| ③福祉ボランティア活動      | 110人 | (10.8%) |
| ④自分の特技を生かした活動    | 100人 | (9.9%)  |
| ⑤その他             | 28人  | (2.8%)  |
| ⑥未回答             | 177人 | (17.4%) |

## [XI] 普段の生活の中での悩み、不安

問13. 不安や悩んでいることは何ですか? 1,144人 (125%) ※複数回答有

- |            |      |         |       |      |         |
|------------|------|---------|-------|------|---------|
| ①老後の生活     | 342人 | (29.9%) | ②健康   | 395人 | (34.5%) |
| ③風水害等の防災対策 | 151人 | (13.2%) | ④防犯対策 | 108人 | (9.4%)  |
| ⑤その他       | 51人  | (4.5%)  | ⑥未回答  | 97人  | (8.5%)  |

## [XII] 町の魅力

問14. 二里町の(イ)どこが好きで、(ロ)どこが嫌いですか?

(イ)好きなところ 849人 (93%) ※複数回答有

- |        |      |         |      |      |         |
|--------|------|---------|------|------|---------|
| ①自然や風景 | 604人 | (71.1%) | ②人情味 | 179人 | (21.1%) |
| ③その他   | 66人  | (7.8%)  |      |      |         |

(ロ)嫌いなところ 638人 (70%) ※複数回答有

- |          |      |         |           |      |         |
|----------|------|---------|-----------|------|---------|
| ①車がないと不便 | 337人 | (52.8%) | ②近くに仕事がない | 181人 | (28.4%) |
| ③その他     | 120人 | (18.8%) |           |      |         |

## [XIII] 生活感を取り入れたまちづくり

問15. もっと住みやすい地域にするためには何が重要だと思いますか? 1,098人 (120%) ※複数回答有

- |                           |      |         |
|---------------------------|------|---------|
| ①安心・安全に暮らせるまちづくり          | 302人 | (27.5%) |
| ②子どもや高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり   | 423人 | (38.5%) |
| ③地域資源を生かし、他地域から人が訪れるまちづくり | 135人 | (12.3%) |
| ④自然を活かしたまちづくり             | 119人 | (10.8%) |
| ⑤その他                      | 24人  | (2.2%)  |
| ⑥未回答                      | 95人  | (8.7%)  |

## [XIV] 町全体への思い

問16. これからも二里町に住み続けたいですか? 947人 (103%) ※複数回答有

- |                 |      |         |
|-----------------|------|---------|
| ①住み続けたい         | 568人 | (60.0%) |
| ②どちらかといえば住み続けたい | 215人 | (22.7%) |
| ③どちらかといえば転出したい  | 60人  | (6.3%)  |
| ④すぐにでも転出したい     | 3人   | (0.3%)  |
| ⑤その他            | 48人  | (5.1%)  |
| ⑥未回答            | 53人  | (5.6%)  |

## ◎ 町別人口の推移

(各年10月1日現在) 単位:人

年次	市計	旧 伊万里	壱川	波多津	南波多	大川	松浦	二里	東山代	山代	県	国 (千人)
大正 9	52,047	14,860	3,483	3,703	3,563	3,465	3,686	4,095	5,105	9,082	673,895	55,963
昭和 5	50,517	16,366	3,631	3,919	3,734	3,475	3,922	4,328	4,004	7,218	691,665	64,450
15	60,539	16,566	4,244	3,873	3,656	5,585	3,847	4,308	8,351	10,019	701,517	73,114
20	70,420	19,762	4,647	4,322	4,326	6,301	4,760	5,859	7,555	12,812	830,431	71,999
25	82,319	23,116	4,691	4,813	4,621	8,346	4,958	7,366	8,744	15,664	945,052	84,115
29	83,354	23,727	4,727	4,870	4,550	8,211	4,972	6,430	10,310	16,557	969,511	85,239
30	81,525	23,172	4,674	4,910	4,607	8,050	4,964	6,425	9,171	15,642	973,749	90,077
35	78,397	22,709	4,123	4,627	4,288	7,771	4,664	6,323	8,613	15,279	942,874	94,302
40	67,316	21,668	3,565	4,068	3,791	6,297	4,175	5,698	7,221	10,835	871,885	99,209
45	61,561	20,912	3,266	3,712	3,545	5,339	3,852	6,034	5,903	8,998	858,468	104,665
50	60,913	21,645	4,227	3,694	3,387	3,808	3,680	6,016	5,795	8,781	837,674	111,940
55	61,243	23,359	3,990	3,421	3,338	3,653	3,465	5,869	5,796	8,321	855,574	117,060
60	62,044	24,107	4,044	3,411	3,319	3,642	3,425	6,024	6,150	7,922	880,018	121,049
平成 2	60,862	24,016	3,718	3,296	3,239	3,505	3,275	5,980	6,351	7,508	877,851	123,611
7	60,348	24,602	3,691	3,111	3,127	3,333	3,066	6,052	6,352	7,014	884,316	125,570
12	59,143	25,059	3,615	2,937	3,009	3,053	2,859	6,026	6,087	6,458	876,654	126,920
14	59,825	25,841	3,561	2,984	3,088	3,073	2,885	6,311	6,185	6,397	873,886	127,486
15	59,596	25,293	3,539	2,934	3,062	3,060	2,859	6,375	6,129	6,349	871,884	127,694
16	59,468	25,389	3,521	2,879	3,037	3,054	2,833	6,403	6,116	6,246	869,876	127,787
17	58,190	25,331	3,570	2,694	2,891	2,863	2,685	6,364	5,791	5,991	866,369	127,769
18	58,913	25,537	3,425	2,804	2,931	2,934	2,746	6,355	6,022	6,059	862,547	127,770
19	58,625	25,605	3,321	2,733	3,006	2,885	2,675	6,407	6,000	5,992	859,205	127,778 ※

※注: H19年は概算値のため、単位は万人

資料: 国勢調査

国勢調査年以外は、

市: 住民基本台帳

県: 県統計調査課「推計人口」

国: 総務省統計局「推計人口」

(国: 14~16年人口は補間補正後)

## ◎ 町別世帯数の推移

(各年10月1日現在) 単位: 世帯

年次	市 計	旧伊万里	黒川	波多津	南波多	大川	松浦	二里	東山代	山代	県	国 (千世帯)
大正 9	10,311	2,936	631	689	681	658	688	812	1,286	1,930	128,654	11,221
昭和 5	9,501	3,097	617	681	682	628	698	819	784	1,495	128,731	12,705
15	11,406	3,171	756	676	691	1,013	670	944	1,560	2,085	129,761	14,342
20	13,765	...	...	...	...	...	...	...	...	...	149,737	...
25	15,959	4,454	801	802	775	1,553	869	1,430	1,760	3,514	176,603	16,580
29	15,850	4,534	780	767	760	1,564	869	1,288	1,902	3,426	178,699	...
30	15,527	4,539	789	811	767	1,490	862	1,224	1,807	3,238	181,468	15,123
35	16,337	4,946	743	800	755	1,563	867	1,293	1,871	3,499	190,063	20,860
40	16,254	5,104	712	782	712	1,967	927	1,281	1,747	2,722	191,425	24,290
45	16,047	5,276	698	782	702	1,290	923	1,467	1,595	2,484	199,755	28,093
50	16,749	5,821	920	789	706	936	828	1,609	1,606	2,535	213,152	32,141
55	16,695	6,615	1,052	771	708	928	813	1,650	1,660	2,498	233,117	36,016
60	17,077	6,998	1,025	767	706	894	796	1,713	1,784	2,394	242,619	38,113
平成 2	17,363	7,313	947	762	701	871	797	1,766	1,884	2,322	251,225	41,036
7	18,054	7,792	1,062	733	704	849	774	1,865	2,018	2,257	287,862	44,109
12	18,626	8,291	1,112	729	687	846	797	1,963	2,033	2,166	278,206	47,063
14	20,467	9,145	1,133	789	754	921	848	2,270	2,193	2,414	263,100	48,661
15	20,613	9,190	1,160	793	755	929	849	2,313	2,217	2,413	265,606	49,289
16	20,737	9,316	1,162	789	744	925	857	2,328	2,217	2,399	267,692	...
17	19,118	8,713	1,172	706	677	826	807	2,152	2,003	2,062	287,431	49,566
18	21,188	9,645	1,175	784	777	919	870	2,401	2,231	2,387	290,279	...
19	21,387	9,803	1,166	779	789	913	861	2,437	2,248	2,391	293,002	...

資料: 国勢調査

国勢調査年以外は、

市: 住民基本台帳

県: 県統計調査課「推計人口」

国: 県統計調査課「佐賀県統計年鑑」

伊万里市 町別・5歳階層別人口（少子率・高齢化率）

2008/11/30現在

区分	総数		旧伊万里町										黒川町		波多津町		南波多町		大川町		松浦町		二里町		東山代町		山代町	
	人口	割合	伊万里地区	牧島地区	大坪地区	立花地区	大川内町	伊万里地区	牧島地区	大坪地区	立花地区	大川内町	黒川町	波多津町	南波多町	大川町	松浦町	二里町	東山代町	山代町								
総数	58,400	100.0%	7,369	1,572	7,616	6,904	2,366	3,275	5.61%	2,665	4.56%	2,945	5.04%	2,840	4.86%	2,644	4.53%	6,399	10.96%	6,022	10.31%	5,783	9.90%					
0～4歳	2,674	4.6%	347	55	429	411	86	151	4.6%	69	2.6%	111	3.8%	107	3.8%	86	3.3%	345	5.4%	301	5.0%	176	3.0%					
5～9歳	2,948	5.0%	430	77	475	388	93	164	5.0%	108	4.1%	139	4.7%	109	3.8%	100	3.8%	329	5.1%	299	5.0%	237	4.1%					
10～14歳	3,027	5.2%	455	57	488	396	86	129	3.9%	115	4.3%	163	5.5%	117	4.1%	123	4.7%	369	5.8%	272	4.5%	257	4.4%					
15～19歳	2,974	5.1%	407	91	397	327	106	169	5.2%	154	5.8%	175	5.9%	147	5.2%	140	5.3%	322	5.0%	275	4.6%	264	4.6%					
20～24歳	3,040	5.2%	358	83	339	376	136	223	6.8%	165	6.2%	174	5.9%	144	5.1%	147	5.6%	308	4.8%	341	5.7%	246	4.3%					
25～29歳	3,276	5.6%	407	79	437	502	108	213	6.5%	123	4.6%	160	5.4%	147	5.2%	120	4.5%	360	5.6%	367	6.1%	253	4.4%					
30～34歳	3,461	5.9%	470	75	487	545	137	198	6.0%	116	4.4%	136	4.6%	105	3.7%	101	3.8%	403	6.3%	364	6.0%	281	4.9%					
35～39歳	3,270	5.6%	510	69	519	491	107	159	4.9%	112	4.2%	132	4.5%	105	3.7%	101	3.8%	399	6.2%	298	4.9%	268	4.6%					
40～44歳	2,964	5.1%	456	74	470	371	91	156	4.8%	116	4.4%	131	4.4%	111	3.9%	131	5.0%	377	5.9%	251	4.2%	229	4.0%					
45～49歳	3,517	6.0%	442	112	504	426	138	184	5.6%	173	6.5%	167	5.7%	144	5.1%	174	6.6%	388	6.1%	342	5.7%	323	5.6%					
50～54歳	4,173	7.1%	526	104	505	472	177	218	6.7%	201	7.5%	221	7.5%	244	8.6%	201	7.6%	430	6.7%	474	7.9%	400	6.9%					
55～59歳	5,024	8.6%	595	143	555	588	211	263	8.0%	219	8.2%	277	9.4%	279	9.8%	219	8.3%	516	8.1%	556	9.2%	603	10.4%					
60～64歳	3,710	6.4%	437	94	430	472	142	226	6.9%	185	6.9%	172	5.8%	169	6.0%	186	7.0%	362	5.7%	400	6.6%	435	7.5%					
65～69歳	3,282	5.6%	374	81	409	325	181	184	5.6%	159	6.0%	147	5.0%	165	5.8%	169	6.4%	363	5.7%	342	5.7%	383	6.6%					
70～74歳	3,324	5.7%	362	127	386	271	168	195	6.0%	186	7.0%	197	6.7%	169	6.0%	168	6.4%	365	5.7%	348	5.8%	382	6.6%					
75～79歳	3,100	5.3%	310	111	344	226	138	167	5.1%	192	7.2%	178	6.0%	201	7.1%	191	7.2%	303	4.7%	327	5.4%	412	7.1%					
80～84歳	2,541	4.4%	264	79	223	174	145	139	4.2%	160	6.0%	151	5.1%	196	6.9%	145	5.5%	266	4.2%	259	4.3%	340	5.9%					
85～89歳	1,362	2.3%	146	42	132	87	77	81	2.5%	76	2.9%	70	2.4%	87	3.1%	83	3.1%	142	2.2%	136	2.3%	203	3.5%					
90～94歳	565	1.0%	54	15	63	44	30	40	1.2%	27	1.0%	35	1.2%	51	1.8%	45	1.7%	35	0.5%	57	0.9%	69	1.2%					
95～99歳	151	0.3%	17	3	21	11	8	14	0.4%	9	0.3%	8	0.3%	9	0.3%	4	0.2%	17	0.3%	10	0.2%	20	0.3%					
100歳以上	17	0.0%	2	1	3	1	1	2	0.1%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	3	0.0%	2	0.0%					
少子率	14.81%		16.72%	12.02%	18.28%	17.31%	11.20%	13.56%	10.96%	14.02%	11.73%	11.69%	16.30%	14.48%	11.59%													
高齢化率	24.56%		20.75%	29.20%	20.76%	16.50%	31.61%	25.10%	30.36%	26.72%	30.92%	30.48%	23.30%	24.61%	31.32%													

※ 少子率は0～14歳までの割合、高齢化率は65歳以上の割合

5 歳階層別（65歳以上） - 行政区別人口

(総括)

区分	総数		東八谷棚		西八谷棚		川東		大里		福母		内の馬場		金武		作井手		中田		吉野		川内		古子	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
総数	6,399	100.0%	1,481	23.1%	502	7.8%	1,751	27.4%	1,023	16.0%	220	3.4%	249	3.9%	432	6.8%	215	3.4%	170	2.7%	121	1.9%	147	2.3%	88	1.4%
0～4歳	345	5.4%	114	7.7%	42	8.4%	90	5.1%	45	4.4%	8	3.6%	4	1.6%	24	5.6%	4	1.9%	7	4.1%	3	2.5%	3	2.0%	1	1.1%
5～9歳	329	5.1%	102	6.9%	33	6.6%	83	4.7%	59	5.8%	14	6.4%	3	1.2%	15	3.5%	2	0.9%	10	5.9%	0	0.0%	5	3.4%	3	3.4%
10～14歳	369	5.8%	96	6.5%	25	5.0%	100	5.7%	72	7.0%	12	5.5%	10	4.0%	22	5.1%	7	3.3%	9	5.3%	3	2.5%	8	5.4%	5	5.7%
15～19歳	322	5.0%	68	4.6%	26	5.2%	77	4.4%	64	6.3%	13	5.9%	6	2.4%	26	6.0%	19	8.8%	7	4.1%	7	5.8%	7	4.8%	2	2.3%
20～24歳	308	4.8%	89	6.0%	18	3.6%	92	5.3%	41	4.0%	7	3.2%	10	4.0%	20	4.6%	7	3.3%	3	1.8%	7	5.8%	10	6.8%	4	4.5%
25～29歳	360	5.6%	95	6.4%	33	6.6%	92	5.3%	49	4.8%	14	6.4%	9	3.6%	27	6.3%	14	6.5%	10	5.9%	7	5.8%	7	4.8%	3	3.4%
30～34歳	403	6.3%	129	8.7%	37	7.4%	107	6.1%	57	5.6%	6	2.7%	17	6.8%	18	4.2%	7	3.3%	10	5.9%	2	1.7%	7	4.8%	2	2.3%
35～39歳	399	6.2%	125	8.4%	39	7.8%	110	6.3%	57	5.6%	12	5.5%	11	4.4%	17	3.9%	6	2.8%	10	5.9%	2	1.7%	7	4.8%	3	3.4%
40～44歳	377	5.9%	114	7.7%	33	6.6%	88	5.0%	49	4.8%	11	5.0%	8	3.2%	28	6.5%	15	7.0%	6	3.5%	9	7.4%	10	6.8%	6	6.8%
45～49歳	388	6.1%	94	6.3%	29	5.8%	97	5.5%	69	6.7%	22	10.0%	10	4.0%	33	7.6%	8	3.7%	13	7.6%	4	3.3%	9	6.1%	0	0.0%
50～54歳	430	6.7%	85	5.7%	34	6.8%	115	6.6%	67	6.5%	22	10.0%	20	8.0%	33	7.6%	13	6.0%	9	5.3%	11	9.1%	10	6.8%	11	12.5%
55～59歳	516	8.1%	70	4.7%	35	7.0%	159	9.1%	98	9.6%	12	5.5%	41	16.5%	28	6.5%	27	12.6%	16	9.4%	9	7.4%	11	7.5%	10	11.4%
60～64歳	362	5.7%	61	4.1%	24	4.8%	97	5.5%	71	6.9%	14	6.4%	22	8.8%	25	5.8%	14	6.5%	13	7.6%	10	8.3%	4	2.7%	7	8.0%
65～69歳	363	5.7%	59	4.0%	37	7.4%	114	6.5%	47	4.6%	12	5.5%	11	4.4%	25	5.8%	19	8.8%	4	2.4%	15	12.4%	10	6.8%	10	11.4%
70～74歳	365	5.7%	73	4.9%	17	3.4%	107	6.1%	53	5.2%	14	6.4%	20	8.0%	22	5.1%	15	7.0%	11	6.5%	9	7.4%	18	12.2%	6	6.8%
75～79歳	303	4.7%	53	3.6%	16	3.2%	78	4.5%	52	5.1%	13	5.9%	18	7.2%	29	6.7%	16	7.4%	7	4.1%	6	5.0%	9	6.1%	6	6.8%
80～84歳	266	4.2%	36	2.4%	9	1.8%	86	4.9%	39	3.8%	10	4.5%	16	6.4%	26	6.0%	12	5.6%	11	6.5%	7	5.8%	9	6.1%	5	5.7%
85～89歳	142	2.2%	14	0.9%	8	1.6%	48	2.7%	23	2.2%	4	1.8%	10	4.0%	11	2.5%	6	2.8%	8	4.7%	4	3.3%	2	1.4%	4	4.5%
90～94歳	35	0.5%	2	0.1%	5	1.0%	8	0.5%	8	0.8%	0	0.0%	1	0.4%	3	0.7%	2	0.9%	3	1.8%	1	0.8%	2	1.4%	0	0.0%
95～99歳	17	0.3%	2	0.1%	2	0.4%	3	0.2%	3	0.3%	0	0.0%	2	0.8%	0	0.0%	2	0.9%	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
少子率	16.30%		21.07%		19.92%		15.59%		17.20%		15.45%		6.83%		14.12%		6.05%		15.29%		4.96%		10.88%		10.23%	
高齢化率	23.30%		16.14%		18.73%		25.36%		21.99%		24.09%		31.33%		26.85%		33.49%		27.65%		34.71%		34.01%		35.23%	

5歳階層別（65歳以上）・行政区別人口

(男性)

区分	総数		東八谷嶺		西八谷嶺		川東		大里		福母		内の馬場		金武		作井手		中田		吉野		川内		古子	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
総数	587	100.0%	90	15.3%	36	6.1%	190	32.4%	93	15.8%	25	4.3%	27	4.6%	34	5.8%	29	4.9%	15	2.6%	18	3.1%	16	2.7%	14	2.4%
65～69歳	169	28.8%	26	28.9%	14	38.9%	52	27.4%	22	23.7%	9	36.0%	5	18.5%	10	29.4%	12	41.4%	3	20.0%	8	44.4%	3	18.8%	5	35.7%
70～74歳	162	27.6%	27	30.0%	10	27.8%	56	29.5%	23	24.7%	7	28.0%	8	29.6%	7	20.6%	3	10.3%	3	20.0%	6	33.3%	7	43.8%	5	35.7%
75～79歳	122	20.8%	20	22.2%	5	13.9%	27	14.2%	24	25.8%	6	24.0%	9	33.3%	7	20.6%	9	31.0%	3	20.0%	4	22.2%	6	37.5%	2	14.3%
80～84歳	91	15.5%	14	15.6%	4	11.1%	35	18.4%	17	18.3%	2	8.0%	4	14.8%	7	20.6%	4	13.8%	4	26.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
85～89歳	39	6.6%	3	3.3%	3	8.3%	19	10.0%	6	6.5%	1	4.0%	1	3.7%	3	8.8%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%
90～94歳	3	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
95～99歳	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
高齢化率																										

(女性)

区分	総数		東八谷嶺		西八谷嶺		川東		大里		福母		内の馬場		金武		作井手		中田		吉野		川内		古子	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
総数	904	100.0%	149	16.5%	58	6.4%	254	28.1%	132	14.6%	28	3.1%	51	5.6%	82	9.1%	43	4.8%	32	3.5%	24	2.7%	34	3.8%	17	1.9%
65～69歳	194	21.5%	33	22.1%	23	39.7%	62	24.4%	25	18.9%	3	10.7%	6	11.8%	15	18.3%	7	16.3%	1	3.1%	7	29.2%	7	20.6%	5	29.4%
70～74歳	203	22.5%	46	30.9%	7	12.1%	51	20.1%	30	22.7%	7	25.0%	12	23.5%	15	18.3%	12	27.9%	8	25.0%	3	12.5%	11	32.4%	1	5.9%
75～79歳	181	20.0%	33	22.1%	11	19.0%	51	20.1%	28	21.2%	7	25.0%	9	17.6%	22	26.8%	7	16.3%	4	12.5%	2	8.3%	3	8.8%	4	23.5%
80～84歳	175	19.4%	22	14.8%	5	8.6%	51	20.1%	22	16.7%	8	28.6%	12	23.5%	19	23.2%	8	18.6%	7	21.9%	7	29.2%	9	26.5%	5	29.4%
85～89歳	103	11.4%	11	7.4%	5	8.6%	29	11.4%	17	12.9%	3	10.7%	9	17.6%	8	9.8%	6	14.0%	7	21.9%	4	16.7%	2	5.9%	2	11.8%
90～94歳	32	3.5%	2	1.3%	5	8.6%	7	2.8%	7	5.3%	0	0.0%	1	2.0%	3	3.7%	1	2.3%	3	9.4%	1	4.2%	2	5.9%	0	0.0%
95～99歳	16	1.8%	2	1.3%	2	3.4%	3	1.2%	3	2.3%	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	2	4.7%	2	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
高齢化率																										



